

高知県立大学 健康栄養学部

# 学 部 報

第 13 号

令和 4 (2022) 年度



## 「学部報」第13号発刊にあたって

健康栄養学部長 村上 尚

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5月8日に2類相当から5類へと変更になり、感染症法上もウイズコロナの生活となりました。感染者数は増加していますが、今のところ爆発的に増加しているわけではないのでよかったです。

さて、健康栄養学部「学部報」は、毎年、健康栄養学部の取り組みを広く知っていただくための刊行物として発行してきました。健康栄養学部には、地域の生活と密着に関わった課題に取り組んでいる教員が多く存在します。本学部報でこれらの一端をご覧いただければと考えております。

## 健康栄養学部の教育理念・目的

### (理念)

第1条 高知県立大学健康栄養学部は、高知県立大学学則第1条に定める目的を達成するため、以下の理念のもとに設置する。

人間や健康、環境の本質を理解しながら、生命の基源である「食」を探求し、人々が健康に生活できるよう幅広い分野で貢献できる人材を養成する。

### (目的)

第2条 高知県立大学健康栄養学部は、第1条の理念のもと、以下の各号の目的を達成するために、教育研究を行う。

1. 人間や健康、環境の本質を理解する能力の養成

ヒトの健康を規定する人間や環境の本質を理解する能力を養成する。

2. 専門的知識・技術、科学的思考力の養成

健康の保持増進、傷病の回復、予防のために必要な専門的知識と実践的知識・技術を養成し、それらを通じて科学的思考力を養う。

3. 社会の変化を予測し、異業種と協働して問題を解決する能力の養成

変化する社会にあって、要求される事柄を察知し、管理栄養士として他の保健医療職者と連携を取りながら、積極的に問題を解決することのできる能力を養う。

4. 豊かな人間性を培う

自らの専門性にたちながら主体的に広く教養を身につけ、社会構成員としての求められる公共性や倫理観を養い、共生社会の実現に必要な真に豊かな人間性を培う。

5. 地域に貢献できる能力の養成

地域の特性を生かした教育・研究を通じ、地域社会の健康の保持増進、傷病の回復、予防のために貢献できる能力を養成する。

# 目 次

「学部報」第12号発刊にあたって	…… i
健康栄養学部の教育理念・目的	…… ii

## I. 学部の記録

1. 2022年度学生数一覧	…… 3
2. 長期在学・休学・退学の状況	…… 3
3. 健康栄養学部教員一覧	…… 3
4. 授業科目と教員配置	…… 4
5. 外部資金の導入	…… 5
6. 研究成果の公表の状況	…… 6
7. 国内外学会等への参加	…… 9
8. 講習会・公開講座	…… 13
9. 地域・学外の活動	…… 14
10. 国際交流活動	…… 17
11. 管理栄養士国家試験対策委員会	…… 18
12. 学部就職支援	…… 22
13. ファカルティ・ディベロップメント (FD) 研修会	…… 27
14. 高知医療センター・高知県立大学包 括的連携協議会 健康栄養連携部会 事業	…… 28
15. 高知医療センター・高知県立大学 合同災害訓練	…… 30
16. 委員会一覧	…… 32
17. 入学試験状況の概要 (2023年度)	…… 33
18. 進学説明会・本学訪問・365日オー プンキャンパス・出前授業状況	…… 33

## II. 学生の記録

1. 学生の都道府県別出身高校数	…… 37
2. 教育における学外施設の利用状況	…… 38
3. 資格所得状況の概要	…… 38
4. 国家試験の合格者状況 (新卒者)	…… 39
5. 就職状況の概要	…… 39
6. インターンシップの実施状況	…… 39
7. 学生の海外研修等	…… 39
8. 健康栄養フィールドワーク	…… 40
9. 卒業研究題目一覧	…… 44
10. 学生の受賞	…… 45
11. 学生の課外活動・イベントで特徴的 な事項の一覧	…… 45

## III. 教員の教育・研究・地域貢献活動

1. 村上 尚	…… 49
2. 荒牧 礼子	…… 51
3. 小林 淳	…… 53
4. 渡邊 浩幸	…… 55
5. 笠原 賀子	…… 58
6. 島田 郁子	…… 60
7. 鈴木 麻希子	…… 64
8. 竹井 悠一郎	…… 66
9. 西岡 道子	…… 69
10. 廣内 智子	…… 70
11. 小山 智久	…… 72
12. 隅田 有公子	…… 74
13. 竹本 和仁	…… 77
14. 生川 卓弘	…… 79
15. 彼末 富貴	…… 81



# I. 学部の記録

1. 2022 年度学生数一覧
2. 長期在学・休学・退学の状況
3. 健康栄養学部教員一覧
4. 授業科目と教員配置
5. 外部資金の導入
6. 研究成果の公表の状況
7. 国内外学会等への参加
8. 講習会・公開講座
9. 地域・学外の活動
10. 国際交流活動
11. 管理栄養士国家試験対策委員会
12. 学部就職支援
13. ファカルティ・ディベロップメント (FD) 研修会
14. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会 健康栄養連携部会業事
15. 高知医療センター・高知県立大学合同災害訓練
16. 委員会一覧
17. 入学試験状況の概要 (2023 年度)
18. 進学説明会・本学訪問・365 日オープンキャンパス・出前授業状況





### 1. 2022年度学生数一覧

( )内:男子

在学生数						科目等履修生
1回生	2回生	3回生	4回生	5回生～	合計	
42 (2)	43 (5)	40 (5)	42 (4)	0	167 (16)	0

### 2. 長期在学・休学・退学等の状況 (2022年度)

年次別休学者数	年次別退学者数	長期履修者数 (5～7年)
1名 (4回生1名)	0	0

### 3. 健康栄養学部教員一覧

職名	氏名	専門分野 (担当科目)
教授 (学部長)	村上 尚	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち
教授	荒牧 礼子	公衆栄養学
教授	小林 淳	社会・環境と健康
教授	渡邊 浩幸	食品学
特任教授	笠原 賀子	栄養教育論
准教授	鈴木 麻希子	栄養学
准教授	西岡 道子	調理学
准教授	島田 郁子	給食経営管理
准教授	竹井 悠一郎	臨床栄養学
講師	廣内 智子	臨床栄養学実習
助教	小山 智久	給食経営管理実習
助教	隅田 有公子	臨床栄養学実習
助教	竹本 和仁	食品学・生化学・栄養学実験
助教	生川 卓弘	地域公衆栄養学実習
助手	彼末 富貴	調理学実習

#### 4. 授業科目と教員配置

科目名	担当者
<b>基礎科目</b>	
健康栄養学基礎	渡邊浩幸, 竹本和仁
健康栄養学応用	一色健司
<b>社会・環境と健康</b>	
地域健康論	小林淳
介護論	荒牧礼子, 辻真美, 竹井悠一郎
食と介護	竹井悠一郎, 荒牧礼子
保健医療福祉論	田中きよむ
地域医療論	小林淳
公衆衛生学	小林淳
環境衛生学実習	小林淳
健康情報論実習	荒牧礼子
<b>人体の構造と機能及び疾病の成り立ち</b>	
生化学Ⅰ	小林淳
生化学Ⅱ	小林淳
生化学実験	小林淳
人体の構造と機能Ⅰ	(非)田中健二郎
人体の構造と機能Ⅱ	村上尚
臨床医科学	村上尚
疾病論Ⅰ	村上尚
疾病論Ⅱ	村上尚
運動生理学	(非)片山訓博
生体科学実験・実習	村上尚
<b>食べ物と健康</b>	
食品学	渡邊浩幸
食品学実験Ⅰ	渡邊浩幸
食品学実験Ⅱ	渡邊浩幸
食材学	渡邊浩幸
食品の栄養素と機能	渡邊浩幸
食品衛生学	渡邊浩幸
食品衛生学実験	渡邊浩幸
フードシステム学	(非)河野俊夫
調理学	西岡道子
調理学実習Ⅰ	西岡道子
調理学実習Ⅱ	西岡道子
調理学実習Ⅲ	西岡道子
調理科学実験	西岡道子
<b>基礎栄養学</b>	
基礎栄養学	鈴木麻希子
基礎栄養学実験	鈴木麻希子
<b>応用栄養学</b>	
応用栄養学Ⅰ	鈴木麻希子
応用栄養学Ⅱ	鈴木麻希子
応用栄養学実習	鈴木麻希子
ライフステージ栄養学	鈴木麻希子

他学部教員・下線 非常勤・(非)

科目名	担当者
<b>栄養教育論</b>	
栄養教育論Ⅰ	笠原賀子
栄養教育論Ⅱ	笠原賀子
栄養教育論Ⅲ	(非)山口光枝
栄養教育論実習Ⅰ	笠原賀子
栄養教育論実習Ⅱ	笠原賀子
学校栄養指導論Ⅰ	笠原賀子
学校栄養指導論Ⅱ	笠原賀子
<b>臨床栄養学</b>	
臨床栄養学Ⅰ	竹井悠一郎
臨床栄養学Ⅱ	竹井悠一郎
臨床栄養学Ⅲ	竹井悠一郎
臨床実践栄養学	竹井悠一郎, 廣内智子
臨床栄養学実習Ⅰ	廣内智子
臨床栄養学実習Ⅱ	廣内智子
<b>公衆栄養学</b>	
公衆栄養学Ⅰ	荒牧礼子
公衆栄養学Ⅱ	荒牧礼子
地域公衆栄養学実習	荒牧礼子
<b>給食経営管理論</b>	
給食経営管理論	島田郁子
給食計画論	島田郁子
給食経営管理実習Ⅰ	島田郁子
給食経営管理実習Ⅱ	島田郁子
<b>総合演習</b>	
管理栄養士総合演習Ⅰ	島田郁子, 荒牧礼子, 廣内智子, 竹井悠一郎
管理栄養士総合演習Ⅱ	村上尚, 小林淳, 渡邊浩幸, 荒牧礼子, 鈴木麻希子, 西岡道子, 島田郁子, 竹井悠一郎, 廣内智子
<b>臨地実習</b>	
給食経営管理臨地実習	島田郁子
臨床栄養学臨地実習Ⅰ	竹井悠一郎, 廣内智子
臨床栄養学臨地実習Ⅱ	竹井悠一郎, 廣内智子
地域公衆栄養学臨地実習	荒牧礼子
地域実践栄養学臨地実習	竹井悠一郎, 荒牧礼子, 島田郁子, 廣内智子
<b>その他</b>	
企業実習 健康栄養フィールドワーク	学年担当教員 島田郁子, 廣内智子
<b>課題研究</b>	
卒業研究	各専任教員

## 5. 外部資金の導入

助成機関名	研究課題名	研究代表者	共同研究者	年度	助成額
令和3(2021)年度科学研究費基金「基盤研究(C)」課題番号: 21K11680	破骨細胞様細胞を標的とした炎症性腸疾患の新規栄養療法の開発	竹井悠一郎	隅田有公子	2021.4~ 2024.3	総額4,160千円
令和3(2021)年度科学研究費基金「基盤研究(C)」課題番号: 21K11704	経腸栄養剤の粘性付加に関する検討	隅田有公子	竹井悠一郎	2021.4~ 2025.3	総額4,030千円
令和4(2022)年度科学研究費基金「基盤研究(C)」課題番号: 22K11267	慢性閉塞性肺疾患患者の再入院予防の地域病院多職種協働型入退院支援ガイドライン開発	森下安子	竹中英利子, 森下幸子, 川上理子, 源田美香, 隅田有公子, 中井美喜子, 山本かよ	2022.4~ 2026.3	総額4,160千円
令和2(2020)年度科学研究費基金「基礎研究(C)」課題番号: 20K02384	学生の食生活改善を促す要因のシミュレーション解析による効果推計と支援的環境の検討	笠巻純一(新潟大学)	笠原賀子他	2020.4 - 2024.3	総額3,770千円
地方大学・地域産業創生交付金(内閣府)	“I o P (Internet of Plants)” が導く「Next次世代型施設園芸農業」への進化	受田浩之	受田浩之他	2022	地方大学・地域産業創生交付金(内閣府)
JST A-STEP トライアウト	食品中機能性成分の相乗効果を高感度に検出する生体中蓄積脂肪燃焼作用評価システムの構築	田中誠也	田中誠也他	2022	JST
高知新聞・高知放送 生命(いのち)の基金 2021年度助成	破骨細胞様細胞を標的とした潰瘍性大腸炎患者の重症化に関連する腸内細菌および代謝産物の網羅的解析	竹井悠一郎	村上尚, 隅田有公子, 澁谷祐一, 十萬敬子, 岡本宣人, 根来裕二	助成対象期間: 2022.4~ 2023.3	900千円
公益信託高知新聞・高知放送 生命(いのち)の基金 令和4年度助成	高知県産イタドリ葉の機能性を厳しく管理する成分品質管理法の確立	竹本和仁	渡邊治幸	2023~ 2024	500千円
一般財団法人高銀地域経済振興財団助成	高知県産イタドリ葉の食物アレルギー症状緩和による高付加価値化	竹本和仁		2023	200千円
一般財団法人高銀地域経済振興財団助成	健康と減災を目指した持続可能な食とくらしの探求	島田郁子	神原咲子	2021~ 2022	
受託研究費	食品成分の水分、タンパク質、脂質、灰分、炭水化物の定量	渡邊浩幸	渡邊浩幸	2022	ウシオ電機
令和3年度 高知県立大学 戦略研究推進プロジェクト(テーマ2)	人における食品機能性成分摂取による免疫、体内時計指標、血糖上昇抑制に及ぼす影響	竹井悠一郎	隅田有公子, 小山智久, 荒牧礼子, 西岡道子, 村上尚, 稲井玲子	2021.6~ 2023.3	総額1,995千円
令和4年度 戦略的研究推進プロジェクト事業	マイノリティや社会的弱者の健康・生活情報の把握・活用方法に関する研究-誰も取り残さない社会の実現を目指して-	木下真里	向井真紀子, 島田郁子, 河内康文, 中井美喜子	2021~ 2022	

## 6. 研究成果の公表の状況

### (1) 学術論文

著者	タイトル	雑誌名 (発行所)	号巻 ページ	発行 年
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda	Types and characteristics of remote classes at a university during the COVID-19 pandemic	International Journal of Science & Research Methodology	20, 29-46	2022
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda	Differences in safety of tap water, well water and mineral water available in Japan	International Journal of Pharmacy & Pharmaceutical Research	23, 167-176	2022
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda	Continued use of nano plastic products	International Journal of Pharmacy & Pharmaceutical Research	23, 229-238	2022
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda	Are three meals a day sufficient?	International Journal of Pharmacy & Pharmaceutical Research	24, 224-233	2022
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda	Overview of Japan's compliance with the framework convention on tobacco control	International Journal of Science & Research Methodology	21, 177-189	2022
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda	Excessive consumption of additives in processed foods	Journal of Current Pharma Research	14, 1-7	2022
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda	Possibility of insect feeding	Journal of Current Pharma Research	14, 114-123	2022
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda	Japanese user tolerance until the medicine effect occurs	International Journal of Pharmacy & Pharmaceutical Research	24, 491-501	2022
Kazuki Kioka, Yuki Aikawa, Yusuke Wakasugi, Takahiro Narukwa, Tomoya Fukuyasu, Makoto Ohtsuki, Takenori Yamashita, Nobuaki Sasai, Naomi Omi	Soy protein intake increased bone mineral density under non-energy deficiency conditions but decreased it under energy deficiency conditions in young female rats	Nutr Res	106, 1-11	2022
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda	Individual efforts to comply with the sustainable development goals	International Journal of Science & Research Methodology	21, 75-84	2022
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda	Does prewashed rice have allow environmental impact?	International Journal of Science & Research Methodology	22, 59-65	2022

著者	タイトル	雑誌名 (発行所)	号巻 ページ	発行 年
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda	Bias in reporting location of new coronavirus cluster outbreaks	Journal of Current Pharma Research	15, 1-10	2022
Jun Kobayashi, Yukiko Sumida, Keiichi Ikeda	Alternative Functions of Amino Acids and Their Effects on Human Physiology	INTERNATIONAL JOURNAL OF PHARMACY & PHARMACEUTICAL RESEARCH	25(1): 184-191	2022
Jun Kobayashi, Yukiko Sumida, Keiichi Ikeda	Can The Reaction That Makes Food Delicious Be Harmful?	INTERNATIONAL JOURNAL OF PHARMACY & PHARMACEUTICAL RESEARCH	25(1): 212-220	2022
Yimamu Y, Ohtani A, Takei Y, Furuichi A, Kamei Y, Yamanaka-Okumura H, Ohminami H, Masuda M, Miyazaki M, Yamamoto H, Taketani Y	25-hydroxyvitamin D-1 $\alpha$ -hydroxylase (CYP27B1) induces ectopic calcification.	J Clin Biochem Nutr.	71(2), 103-111.	2022
Ketu Rie, Teruo Yokoi, Yayoi Miyoshi, Hiroyuki Watanabe, and Toshihide Fukuda	Eating behavior and environments of severe Alzheimer's disease patients with loss of language skills	Gerontol Geriatr Med	022, Published online 2022 Jul 18. doi: 10.1177/23337214221113848	2022
Tanaka M, Koida A, Miyazaki A, Tabata K, Takei Y, Tanimoto Y, Kawamura M, Takahashi H, Yano T, Watanabe H	Canna starch improves immune functions and the intestinal environment in mice	<i>Biosci Microbiota Food Health</i>	42(2): 131-137	2023
Satoshi Numata, Hao Luo, Makiko Suzuki	Preparation and application of monoclonal antibodies for an immune complex transfer enzyme immunoassay of an egg white allergen, lipocalin-type prostaglandin D synthase.	J Nutr Sci Vitaminol	in press.	2023
Kazuhito Takemoto, Luo Hao, Masaki Iji, Takahiro Narukawa, Tomohisa Koyama, Hiroyuki Watanabe	Inhibition of Colorectal Cancer Cell Proliferation by Treatment with Itadori Leaf Extract	Journal of oleo science	72(2)	2023
Haruka Kobayashi, Noriko Sudo, Nobuyo Tsuboyama-Kasaoka, Ikuko Shimada, Keiichi Sato	Validity and reproducibility of food photographic estimation for evaluating meals in evacuation shelters	AIMS Public Health	10(1) : 169-182 10.3934/publichealth.2023013	2023 .3
Noriko Sudo, Nobuyo Tsuboyama-Kasaoka, Ikuko Shimada, Keiichi Sato and Akiko Kubo	Attitudes toward using "Simple simulator for calculating nutritional food stocks in preparation for large-scale disasters" among local governmental personnel and public health dietitians in Japan: An explanatory mixed methods study	AIMS Public Health	9(4) 737-757 DOI: 10.3934/publichealth.2022051	2022 .11

著者	タイトル	雑誌名 (発行所)	号巻 ページ	発行 年
Ikuko Shimada, Takashi Uemura	Today' s school lunch determines tomorrow' s cultural level in the country-Looking at the changing roles and issued in Japanese school lunch-	Journal of Japanese Studies Exploring Multidisciplinarity	1(2) 173-185 ISSN: 2789-3014, eISSN: 2791-0849	July 2022
Ayana Hirano, Noriko Sudo, Nobuyo Tsuboyama-Kasaoka, Ikuko Shimada, Keiichi Sato, Yuki Shibamura, Sayaka Nagao-Sato	Usefulness of Simple Meal Screening Using Dietary Assessment Sheets for Evacuation Shelters	Journal of the American Nutrition Association	Vol. 42	2022 . 7
小林 淳, 松本晏奈, 藤田優香, 杉山英男	プロジェクターを活用する授業を想定した大気環境の調査	四国公衆衛生学会誌	67, 73-79	2022
隅田有公子, 高村泉紀, 新垣翼, 見津田貴道, 竹井悠一郎, 村上尚	濃厚流動食の半固化化における物性の時間的変化について	日本病態栄養学会誌	26(1): 103-112	2023
笠巻純一, 宮西邦夫, 笠原賀子, 松本裕史, 西田順一, 渋谷崇行, 丸田穂花	男子学生の喫煙行動と喫煙に対する恩恵・負担の認識との関連	Health and Behavior Sciences	21(1) 39-50	2022
笠巻純一, 宮西邦夫, 笠原賀子, 松本裕史, 西田順一, 渋谷崇行, 丸田穂花	調理技術の自己評価の向上が女子学生の栄養素等摂取状況に及ぼす影響-1年間の縦断調査結果に基づく解析-	Health and Behavior Sciences	21(2)85-98	2023
鈴木麻希子, 沼田 聡	卵白アレルゲンの高感度定量法への期待.	鶏の研究	98(2): 38-42.	2023

## (2) 著書

著者	タイトル	ページ	出版社	発行年
内田明彦, 加藤雅彦, 小林淳 他 (分担)	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻 公衆衛生学/動物看護関連法規/動物愛護・適正飼養関連法規, 一般社団法人日本動物保健看護系大学協会カリキュラム委員会 編, 改訂第2版第3刷	171-214	EDUWARD Press	2023
笠岡 (坪山) 宣代 (編者), 原田萌香, 濱田真里, 山下雅世, 深澤幸子, 島田郁子 (他全26名)	「臨床栄養」別冊災害・緊急時の食と栄養 いますぐ知りたいアクションQ&A	第2章 8つのQ &A 執筆 (16ページ)	医歯薬出版株式会社	2023. 3
島田郁子(分担)	栄養科学イラストレイテッド 臨床栄養学実習 付録E 食中毒発生時および災害発生時に備えた対応について	215 ~ 218	羊土社	2022. 12
栄養管理プロセス研究会 監修, 木戸康博・中村丁次・寺本房子編 笠原賀子(分担)	改訂新版 栄養管理プロセス		第一出版	2022
芦川修貳監修, 古畑公・田中弘之編 笠原賀子(分担)	エスカパーシク 公衆栄養学概論2022/2023		同文書院	2022
笠原賀子, 斎藤トシ子編	栄養科学シリーズNEXT栄養教育論第4版	p. 1-205	講談社サイエントフィク	2022

(3) その他、報告書等

氏名	タイトル	ページ	名称・機関・発行所	発行年
竹井悠一郎, 隅田有公子, 福井康雄, 稲田涼	炎症性腸疾患の新規治療法確立を目指した基礎的研究		戦略的研究推進プロジェクト成果報告	2023
島田郁子, 笠岡(坪山) 宣代	連載 災害時の食と栄養 -助かった命をつなぐために- 連載3回目 「避難所で元気に過ごすポイント」	23-27	公益社団法人美容美容教育センター紀要 2023年1月号	2023
荒牧礼子	高知県内の医療・健康・福祉専門職者のスキルアップに資する活動 高知県新任期行政栄養士研修報告書	150-153	高知県立大学健康長寿センター	2022
島田郁子	スペシャリストへの道		日本栄養士会雑誌第65巻11月号	2022
島田郁子	低栄養レシピ集 献立作成・栄養計算 主菜が魚のレシピ(1) 主菜が大豆製品のレシピ		高知県健康政策部保健政策課ホームページ	2023
島田郁子	災害支援体制づくりにむけて		栄養士佐はちきん第42号・高知県栄養士会	2023
彼末富貴(取材協力)	とさぶし 土佐おたからレシピ「ナスのタタキ」	16-17	高知県文化厚生スポーツ部文化国際課	2022

7. 国内外学会等への参加

(1) 国際学会発表

発表者	題目	学会名	場所	開催日
T. Koyama, Y. Takei, Y. Sumida, S. Higaki, M. Nishioka, T. Murakami, R. Aramaki, R. Inai	The Effect of Sword Bean (Canavalia gladiata) on Postprandial Blood Glucose Level	The 8th Asian Congress of Dietetics	Yokohama	2022.8.19~21
Yukiko Sumida, Yuichiro Takei, Hiroyuki Watanabe, Takashi Murakami	The occurrence of gastroesophageal reflux differs depending on the type of thickener for the semi-solidified enteral nutrients.	The 8th Asian Congress of Dietetics	Yokohama	2022.8.20
Satoshi Numata, Chika Ishida, Ryohei Nagata, Misako Ihara, Kou Lau, Makiko Suzuki	Development of a highly sensitive enzyme immunoassay for the determination of L-PGDS in hens' egg white.	The 8th Asian Congress of Dietetics	Japan	2022.8.19-21
Reiko Aramaki	Recognition of a "healthy diet" among young women	The 8th Asian Congress of Dietetics	Yokohama	2022.8.19-21
Ikuko Shimada, Noriko Sudo, Nobuyo Kasaoka (Tsuboyama), Keiichi Sato	An attempt to develop boxed lunches that take into consideration the nutritional reference amount and diversity of food provision in evacuation centers	第8回アジア栄養士会議 (ACD2022)	Yokohama	2022.8
Hiroka Sato, Noriko Sudo, Ikuko Shimada, Tamaki Takeda, Nobuyo Kasaoka (Tsuboyama)	Within- and Between-shelter Variations in Foods Provided at Shelters During a Heavy Rain Disaster and the Necessary Number of Days for Weighed Food Record	第8回アジア栄養士会議 (ACD2022)	Yokohama	2022.8

発表者	題目	学会名	場所	開催日
Ikuko Shimada , Takashi Uemura	Current Status and Issues of Halal Food Products for Disaster Preparedness	International Conferences on Food & Agriculture Advanced Technology for Sustainable Development	Industrial University of Ho Chi Minh City, Viet Nam	2022.11
Yuichiro Takei, Mamoru Tanaka, Yukiko Sumida, Hiroyuki Watanabe	Auraptene, a citrus polyphenol attenuates an aortic aneurysm formation through the suppressing osteoclastogenesis in the artery, but not vascular calcification in the artery in Ca-PO <sub>4</sub> -induced mouse model.	22nd IUNS-ICN	Tokyo	2022.12.11
Yukiko Sumida, Shunsuke Higaki, Yuichiro Takei, Reiko Inai	The effect of inulin in a Jerusalem artichoke, <i>helianthus tuberosus</i> on postprandial blood glucose levels in healthy young women.	22nd IUNS-ICN	Tokyo	2022.12.11
Tomoko T. Asai, Shunsuke Higaki, Yukiko Sumida, Tomohisa Koyama, Masaki Taga, Yuichiro Takei, Takashi Murakami, Reiko Inai	Effect of ingestion of powdered sword bean ( <i>Canavalia gladiate</i> ) on blood glucose levels in healthy young women.	22nd IUNS-ICN	Tokyo	2022.12.11
Ayumi Suda, Shunsuke Higaki, Yukiko Sumida, Tomohisa Koyama, Tomoko Asai, Yuichiro Takei, Reiko Inai, Tatsuhiko Matsuo	Effect of intake order of staple food, main dish, and side dish on postprandial blood glucose level in healthy young individuals.	22nd IUNS-ICN	Tokyo	2022.12.11
Kazuhito Takemoto, Hao Luo, Masaki Iji, Akari Koresawa, Ganlin Tian, Takahiro Narukawa, Tomohisa Koyama, Hiroyuki Watanabe	Establishment of a fatty liver model system using the Hepa 1-6 strain and the effects of extracts from plants with high polyphenol content on fat accumulation	22nd IUNS-International Congress of Nutrition	Tokyo	2022.12
Hao Luo, Kazuhito Takemoto, Masaki Iji, Akari Koresawa, Ganlin Tian, Takahiro Narukawa, Tomohisa Koyama, Hiroyuki Watanabe	Effects of Itadori (Fallopia Japonica) leaf extract using ethanol on colorectal cancer cells	22nd IUNS-International Congress of Nutrition	Tokyo	2022.12.06~11
Masaki Taga, Shunsuke Higaki, Yukiko Sumida, Tomohisa Koyama, Tomoko Asai, Yuichiro Takei, Ayumi Suda, Reiko Inai	Effect of one week of consumption of brown rice fermented food on postprandial blood glucose levels	22nd IUNS-International Congress of Nutrition	Tokyo	2022.12.06~11
Yuki Aikawa, Yusuke Wakasugi, Takahiro Narukawa, Kazuki Kioka, Takenori Yamashita, Naomi Omi, Makoto Ohtsuki	Effects of different energy restriction levels on bone in young female rats	22nd IUNS-International Congress of Nutrition,	Tokyo	22.12.06



発表者	題目	学会名	場所	開催日
Ikuko Shimada, Kaori Aoki, Chikako Shimamura, Yuka Kumamoto, Maya Nishimura, Noriko Sudo, Nobuyo Tsuboyama Kasaoka, Keiichi Sato	Attempts to prepare food for disasters with consideration for nutrition and water conservation	22nd International congress of Nutrition	Tokyo	2022.12
Chie Tokuhiko Ikuko Shimada	Reducing Food waste: Changing Awareness and Behavior in Elementary School Students, Parents, and Teachers	22nd International congress of Nutrition	Tokyo	2022.12

(2) 国内学会発表

発表者	題目	学会名	場所	開催日
竹本和仁, 生川卓弘, 山田晋之, 山根悠太, 渡邊千尋, 田甘霖, 宮下かおり, 渡邊浩幸	Hepa1-6株を用いた脂肪肝モデル系の確立とイタドリ抽出物が脂肪蓄積に与える影響	第76回日本栄養・食糧学会	神戸	2022.06.10~12
生川卓弘, 田甘霖, 竹本和仁, 山田晋行, 山根悠太, 渡邊千尋, 井治賢希, 渡邊浩幸	食用カンナ葉部の栄養化学的特性と脱顆粒抑制作用	第76回日本栄養・食糧学会.	神戸	2022.06.10~12
檜垣俊介, 隅田有公子, 竹井悠一郎, 稲井玲子	主食・主菜・副菜の摂取順番の違いと食後血糖値の関係	日本食育学会学術会議第16回大会	愛媛	2022.6.25
竹井悠一郎, 渡邊浩幸, 竹本和仁, 生川卓弘, 鈴木麻希子	高知県農産物の収穫予測と品質管理を可能にする非破壊簡易分析法の確立と野菜類の品質基準作成、マーケティングへの応用	令和4年度IoPプロジェクト研究推進部会研究発表会	Web オンデマンド	2022.07.25~08.08
廣内智子, 難波江由香, 星川友美, 白木春乃, 中尾理紗	災害時における備蓄食品を活用した治療食の検討	2022年度日本災害食学会学術大会	オンライン	2022.8.6
西村浩代, 川村裕美, 伊藤浩子, 島田郁子	新型コロナウイルス感染症 自宅療養者への食事提供からみた家庭内備蓄について	第10回日本災害食学会 学術大会	オンライン	2022.8
笠巻純一, 丸田穂花, 笠原賀子, 宮西邦夫, 松本裕史, 西田順一, 渋谷崇行	調理技術の自己評価の向上が女子学生の栄養素等摂取状況に及ぼす影響 -1年間の縦断調査結果に基づく解析-	日本調理科学会2022年度大会	兵庫	2022.9.02
丸田穂花, 笠巻純一, 笠原賀子, 宮西邦夫, 松本裕史, 西田順一, 渋谷崇行	性・学年別にみた学生の調理技術の自己評価分析	日本調理科学会2022年度大会	兵庫	2022.9.02
廣内智子, 隅田有公子, 彼末富貴, 森本絢音, 小椋和佳奈, 坂本一美, 小谷小枝, 十萬敬子, 村上尚, 澁谷祐一	高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会健康栄養連携部会の取り組み(減塩生活のセルフケア支援)	第69回日本栄養改善学会学術総会	岡山	2022.9.18
武田環, 須藤紀子, 島田郁子, 笠岡(坪山)宣代	「栄養に配慮した備蓄と災害発生後の食事シミュレーター」の作成	第69回日本栄養改善学会学術総会	岡山	2022.9
三宮章香, 下元智世, 鈴木麻希子	給食管理実習における一枚ポートフォリオ導入が学修成果に及ぼす影響.	第69回日本栄養改善学会学術総会	岡山	2022.9.16-18.
小林 淳, 矢野愛実, 杉山英男	大学トイレ洗面台床における微生物汚染状況調査	日本分析化学会第71年会	岡山	2022.9

発表者	題目	学会名	場所	開催日
島田郁子, 廣内智子	学生企画によるぼうさいカフェ	第 68 回 (一社) 日本家政学会中国・四国支部研究発表会	オンライン	2022. 10
佐藤寛華, 須藤紀子, 武田環, 島田郁子, 笠岡(坪山)宜代	「避難所における栄養の参照量」の改訂と活用ツール作成のためのグループインタビュー	第 81 回日本公衆衛生学会学術総会	山梨	2022. 10
水野怜香, 須藤紀子, 島田郁子, 笠岡(坪山) 宜代	炊き出しにおける災害時要配慮者対応の可能性:炊き出し団体へのインタビュー	第 81 回日本公衆衛生学会学術総会	山梨	2022. 10
田甘霖, 井治賢希, 生川卓弘, 小山智久, 竹本和仁, 渡邊治幸	野菜由来成分の抗アレルギー作用	第 55 回 日本栄養食糧学会 中四国支部会	島根	2022. 10. 29
竹本和仁, 生川卓弘, 小山智久, 田甘霖, 井治賢希, 渡邊治幸	Hepa1-6 株を用いた脂肪酸栄養源の違いによる影響の解析	第 55 回 日本栄養食糧学会 中四国支部会	島根	2022. 10. 29
生川卓弘, 田甘霖, 井治賢希, 小山智久, 竹本和仁, 渡邊浩幸	食用カンナ葉部抽出物の脱顆粒 抑制作用における要因の検討	第 55 回日本栄養食糧学会支部大会	松江	2022. 10. 29
荒牧礼子	Instagram におけるダイエット情報の科学的根拠に関する調査	第 29 回日本未病学会学術総会	千葉浦安	2022. 11. 13
上向井美佐, 島田郁子, 隅田有公子, 村井正之	高アミロース極多収水稻系統を用いて作成したピラフの食味試験	第86回日本育種学会四国談話会	高知	2022. 11. 25
池田啓一, 岩倉慶典, 新城智也, 川崎広明, 東 康彦, 小林 淳, 刀弥重信, 松本 孝, 山倉文幸	インドール環含有トリプトファン代謝物の生体内抗酸化物質としての可能性～スペクトル測定で見るペルオキシナイトライトとの反応性～	第 23 回日本補完代替医療学会学術集会	Web 開催	2022. 11-12
中川颯人, 池田啓一, 岩倉慶典, 新城智也, 鳥谷部悠史, 川崎広明, 東 康彦, 小林 淳, 刀弥重信, 松本 孝, 山倉文幸	インドール環含有トリプトファン代謝物はペルオキシナイトライトに対する生体内抗酸化物質となり得るのか?～スペクトル測定からの検討～	日本トリプトファン研究会第41回学術集会	金沢	2022. 12
鳥谷部悠史, 池田啓一, 岩倉慶典, 加藤優之介, 岡田秀朗, 中川颯人, 川崎広明, 小林 淳, 刀弥重信, 松本 孝, 山倉文幸	活性窒素種によるトリプトファン代謝物のニトロ化と副反応を回避する前処理の検討	日本トリプトファン研究会第 41 回学術集会	金沢	2022. 12
柳沼 梢, 津野香奈美, 吉益光一, 齋藤長徳, 笠原賀子, 龍田 希, 仲井邦彦	管理栄養士・栄養士のワーク・エンゲイジメント	第 93 回日本衛生学会	東京	2023. 3. 4
笠巻純一, 笠原賀子, 宮西邦夫, 松本裕史, 西田順一	食習慣変容ステージ別にみた食行動・栄養素等摂取状況の変化-1 年間の縦断研究から	第 93 回日本衛生学会	東京	2023. 3. 4
竹井悠一郎 (日本栄養・食糧学会推薦)	骨外軟組織に発現する破骨細胞様細胞の臓器障害への関与	日本医学会連合 Rising Star リトリート	兵庫	2023. 3. 5
森本絢音, 坂本一美, 小椋和佳奈, 廣内智子, 隅田有公子, 彼末富貴, 十萬敬子, 小谷小枝, 澁谷祐一, 村上尚	高知医療センター栄養局・高知県立大学健康栄養学部の包括的連携事業の取り組み	第42回食事療法学会	オンライン	2023. 3. 13
小林 淳, 矢野愛実, 杉山英男	トイレ洗面台床における微生物汚染状況調査	日本薬学会第 143 年会	札幌 & Web	2023. 3

## 8. 講習会・公開講座

タイトル	講師	主催	開催日	場所	対象
“Potential for local products in Kochi” Food Technology Program	島田郁子	Universitas Ciputra Surabaya	2022.4.4	オンライン	インドネシアの大学生・県立大学生
第39回本山町・本山町老人クラブ連合会・高知県立大学公開講座「夜學」2022「知ってびっくり！意外に知らない土佐の食材にまつわる雑学」	廣内智子	本山町・本山町老人クラブ連合会・高知県立大学	2022.6.13	本山町プラチナセンター	本山町民
安芸シルバー短期大学 食品の安全確保の必要性と理由	渡邊浩幸	安芸市社会福祉協議会	2022.6.24		一般
訪問看護スタートアップ研修「栄養アセスメントと食事の支援」	廣内智子	高知県立大学	2022.7.6, 12.14	高知県立大学	
本山町・本山町老人クラブ連合会・高知県立大学公開講座「夜學」2022（お昼の特別講座）	竹井悠一郎	本山町・本山町老人クラブ連合会・高知県立大学	2022.7.20	高知県立大学	本山町民
高知県立大学ウェブオープンキャンパス2020 模擬授業	竹井悠一郎	健康栄養学部	2022.7.23	オンライン	オープンキャンパス参加者
高校生のための公開講座「第2回県大立志塾2022」 摂食・嚥下障害とその栄養管理 ～摂食・嚥下障害とは。摂食・嚥下機能に合わせた食事について～	隅田有公子	高知県立大学	2022.9.11	高知県立大学（オンライン）	高校生
令和4年度介護労働講習「介護職に求められる栄養ケア」	廣内智子	高知県立大学	2022.9.21	高知県立大学	
多職種協働研修第3回「今、どうして多職種協働が必要なのか？」	廣内智子	高知県立大学	2022.11.7	高知県立大学	
包括連携・健康栄養学部FD研修会「合同災害訓練の振り返り」	廣内智子	健康栄養学部	2022.12.12	高知県立大学	高知県立大学教員, 高知医療センター栄養スタッフ
多職種協働研修第5回「リアルカンファレンス」ファシリテータ	廣内智子	高知県立大学	2022.12.13	高知県立大学	
HACCP 管理者 HACCP 講座	渡邊浩幸, 竹本和仁			高知県立大学	健康栄養学部学生
全学FD研修会「パフォーマンス課題におけるルーブリックの実践例紹介」	廣内智子	高知県立大学	2023.3.7	高知県立大学	高知県立大学教員

## 9. 地域・学外の活動

### (1) 講師活動

タイトル	氏名	主催	開催日	開催場所	対象者
令和4年度IoP塾（前期）オンライン講座	竹井悠一郎	IoP 研究推進部会	2022. 5. 18	IoP 塾（遠隔）	IoP 塾生
令和4年度須崎福祉保健所管内健康づくり婦人会連合会研修会	島田郁子	四万十町	2022. 5. 25	四万十町役場東庁舎	地区住民
令和4年度南国市保育所（園）調理部会研修	島田郁子	南国市	2022. 6. 14	南国市保健センター	調理従事者
高知県行政栄養士新任期研修会「地域診断-経年データのとり方、分析の仕方について」	荒牧礼子	高知県	2022. 7. 8	高知県保健衛生総合庁舎	高知県行政栄養士
くらしの植物教室「トウモロコシを知る～「きび」と高知の食文化」	彼末富貴	高知県立牧野植物園	2022. 7. 9	牧野植物園	一般
令和4年南海トラフ地震時栄養・食生活支援活動事例検討会	島田郁子	高知県健康政策部	2022. 7. 19	オーテピア	県・市町村行政栄養士
長野県佐久保健所 令和4年度佐久地域管理栄養士・栄養士研修会	笠原賀子	長野県佐久保健所	2022. 7. 21, 9. 16, 11. 11	オンライン	佐久地域管理栄養士・栄養士
令和4年度高知県特別支援学校給食研究協議会調理職員等研修会「災害時における栄養・食生活支援について」	廣内智子		2022. 8. 1		
令和4年度「全世代に広げよう健康寿命延伸プロジェクト（第2弾）」説明会	竹井悠一郎	高知県食生活改善推進協議会	2022. 8. 4	高知県ふくし交流プラザ	食生活改善推進員等
高知の魚についての話と調理実習	彼末富貴	放課後デイサービスアビリティキッズ	2022. 8. 5	高知県ふくし交流プラザ	放課後デイサービスアビリティキッズ
土佐FBC人材創出事業（食品機能学）	渡邊浩幸	高知大学	2022. 8. 7	高知大学FBC（遠隔）	FBC会員
第69回日本栄養改善学会学術集会 支部間交流ひろば 演者（四国支部担当）	竹井悠一郎	第69回日本栄養改善学会学術集会	2022. 9. 18	岡山（遠隔）	学会員
高知県調理師試験準備講習会「栄養学」「食文化概論」	西岡道子, 彼末富貴	高知県食品衛生協会	2022. 9. 22	高知城ホール	一般
JDA-DAT 滋賀スタッフ養成／フォローアップ研修会「栄養アセスメントとともに学ぶ被災地でのコミュニケーションスキル」	廣内智子		2022. 9. 24		
災害時にもおいしい離乳食	島田郁子	高知新聞社	2022. 9. 24	ライム住宅展示場	地域住民
高知新聞いのが記者 災害時食の力で乗り越えるには	島田郁子	高知新聞社	2022. 9. 25	高知市東部健康福祉センター	中学生
室戸健康大学 講演会「いつまでも元気！生活習慣病予防」	荒牧礼子	室戸市	2022. 10. 16		室戸市民
高知県防災士養成講座	島田郁子	高知県危機管理・防災課	2022. 10. 22, 29, 11. 26, 12. 11	四万十市, 安芸市, 香南市, 高知市	地域住民

タイトル	氏名	主催	開催日	開催場所	対象者
新潟県栄養士会長岡支部 CKD・糖尿病性腎症重症化予防栄養指導事業スタッフ研修会	笠原賀子	新潟県栄養士会	2022. 11. 1	長岡市中央公民館さいわいプラザ	管理栄養士・栄養士、保健師
高知県減災女子部 パッククッキング講習会	島田郁子	高知県減災女子部	2022. 11. 13	ソーレ	地域住民
こうちの食材を使った料理、伝統の郷土料理などを普及するための料理教室	彼末富貴	高知県栄養士会 栄養ケア・ステーション事業	2022. 11. 21, 2023. 1. 23, 3. 23	とさのさとキッチンプラス	一般
岩手県学校栄養士協議会 令和4年度岩手県栄養教諭・学校栄養職員研究大会 講演	笠原賀子	岩手県学校栄養士協議会	2022. 11. 22	アイーナいわて県民情報交流センター	栄養教諭・学校栄養職員・教育関係者
高知市文化事業団セカンドライブ講座「免疫と食事」	荒牧礼子	高知市文化事業団	2022. 11. 26	高知市江ノ口地区公民館	
令和4年度 第67回高知県保育研究集会 第4分科会 ローリングストック in 保育園！災害を乗り越えよう	島田郁子	高知県保育士会	2022. 12. 4	オンライン	保育士・保育関係者
高知県行政栄養士新任期研修会「健康・栄養指標から地域の健康課題の抽出について」	荒牧礼子	高知県	2022. 12. 9	高知県保健衛生総合庁舎	高知県行政栄養士
給食施設関係者研修会	島田郁子	高知県中央西福祉保健所	2022. 12. 14	高知県高知青少年の家	給食施設関係者
高知県隣保館連絡協議会研修会 住民の力で災害対応 今、やっておきたいことは	島田郁子	中土佐町人権啓発センター	2023. 1. 20	中土佐町人権啓発センター隣保館	県内行政職員
ソーレまつり「親子でご飯づくり」	彼末富貴	男女共同参画ポレール	2023. 1. 21	こうち男女共同参画センター「ソーレ」	親子
IoP 特別講座「野菜の栄養素の特徴と役割」	渡邊浩幸	IoP 研究推進部会	2023. 01. 26	IoP 塾（遠隔）	IoP 塾生
熊本県栄養士会 JDA-DAT スタッフ養成研修会 ハラル対応について	島田郁子	熊本県栄養士会	2023. 2. 11	熊本城 桜の馬場 城彩苑	熊本県栄養士会会員
高知県高坂学園生涯大学講座「免疫力と食事」	荒牧礼子	高知県高坂学園	2023. 2. 17	高知市東部保健センター	高坂学園生
長野県木曾保健福祉事務所 令和4年度木曾地域食育フォーラム 食育実践発表講演	笠原賀子	長野県木曾保健福祉事務所	2023. 2. 22	オンライン	食育関係者、地域住民、高校生
産業医学研修会 「日本食品標準成分表 2020年版（八訂）と日本人の食事摂取基準 2020年版の特徴からその活用の仕方を考える」	鈴木麻希子	独立行政法人労働者健康安全機構高知産業保健総合支援センター	2023. 3. 8	総合あんしんセンター	産業医
高知県栄養士会 JDA-DAT リーダースキルアップ・スタッフ養成研修会	島田郁子	高知県栄養士会	2023. 3. 28	高知医療センターくろしおホール	高知県栄養士会会員

## (2) 高大連携・地域との共同事業

タイトル	氏名	主催	開催日	開催場所
令和4年度子どもへの健康教育	竹井悠一郎	高知県健康政策部保健政策課	2022. 6. 5	安芸市立安芸第一小学校
進学説明会 模擬授業	島田郁子	土佐女子高等学校	2022. 6. 15	土佐女子高等学校
令和4年度子どもへの健康教育	竹井悠一郎	高知県健康政策部保健政策課	2022. 9. 22	土佐清水市立清水中学校
室戸高等学校出前講座「巨大地震に備え今すべき食料備蓄」	廣内智子	室戸高校	2022. 10. 12	室戸高校
基本的診療機能実習 模擬患者役	島田郁子	高知大学医学部	2022. 10. 18	高知大学医学部
安芸高校出前講座（高大連携）「食物アレルギー～一生食べられないの？～」	竹本和仁	高大連携	2022. 10. 20	安芸高校
出前講義	小林 淳	高知市立鏡中学校	2022. 10. 24	高知市立鏡中学校
令和4年度子どもへの健康教育	竹井悠一郎	高知県健康政策部保健政策課	2022. 10. 25	四万十町立窪川小学校
令和4年度子どもへの健康教育	竹井悠一郎	高知県健康政策部保健政策課	2022. 11. 1	南国市立岡豊小学校
土佐の雑煮の学習	彼末富貴	高知市立潮江東小学校	2022. 12. 8	潮江東小学校
令和4年度子どもへの健康教育	竹井悠一郎	高知県健康政策部保健政策課	2023. 1. 23	いの町立枝川小学校

## 10. 国際交流活動

竹井悠一郎

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響が続く、3年目の年になりました。この1年間も国際交流活動事業の大部分が中止もしくは延期となりました。

全学の国際交流センターでは、今年度から、センター長が五百藏高浩先生から高西成介先生にバトンタッチされ、新たな門出となりました。2023年（次年度）夏季からの短期・長期留学プログラムの応募がされ、留学生が決定されました。また、年度末には、コロナ禍に対応したオンラインプログラム『トロント大学 Global Citizenship Challenge』も実施いたしました。少しずつではありますが、活動が再開されつつあります。

学部内の国際交流は、国際交流ワーキンググループのメンバー（村上、小林、渡邊、荒牧、島田、竹井、竹本：敬称略）を中心に運営されました。しかし、今年度も学部内の国際交流は全て中止となりました。

### 1. 活動報告

#### 1) 池デイ

COVID-19の影響により、中止となりました。

#### 2) マレーシア国立サバ大学との国際交流

毎年7月のサバ大学留学生の受入および3月の当学部生派遣ともに、COVID-19の影響により中止となりました。

### 2. 今後に向けて

今年度も昨年度同様、COVID-19の影響を受けた1年でした。全学の国際交流センター、ならびに学部国際交流WGではコロナ禍前の状況に戻せられるよう、その見極めを慎重に行いつつ、活動再開ができたと思います。また、次年度5月8日からCOVID-19が2類感染症から5類感染症に分類変更される予定です。不安は残りますが、次年度こそと期待し、国際交流の実施に向け、準備したいと思います。

## 11. 管理栄養士国家試験対策委員会

廣内智子, 竹本和仁

### I. 主な活動内容

3回生及び4回生を対象に全国統一模擬試験を7回実施しました。COVID-19感染拡大状況の悪化に伴い、感染拡大防止の措置として、模擬試験を全員自宅にて受験した時もありました。

3回生では苦手分野の把握を目的に、4回生では合格点120点以上を目標に実施しました。模擬試験終了後には、成績が伸び悩む学生を対象に個別面談を複数回実施し、今後の勉強方法についてアドバイスを行いました。外部講師による国家試験対策講座として、特別講座（無料）及び超直前対策講座（有料）を開催しました。オンデマンドによるDVD講座の視聴にも関わらず、受講した学生は積極的に講座に参加し、苦手分野の解き方や勉強方法を身に付け、苦手科目の克服を目指しました。また、4回生を対象に苦手科目や強化したい科目などのアンケート調査を10月に行い、結果をもとに学部教員による国家試験対策講座を1月に開講しました。各科目担当教員が基礎的内容から国家試験問題の解説まで徹底指導に取り組み、教員6名が延べ10コマ実施しました。

その他、国家試験受験願書記入説明会等を開催し、合格までのサポートを行いました。

### II. 国家試験対策に関する活動内容一覧

実施日	内容	対象者	
4月ガイダンス	<調査> 苦手分野の調査	4回生	
5月14日(土)	【模試】 かんもし Basic I (応用力問題除く)	4回生	
6月25日(土)	(講座) RDC 特別講演 (DVD 視聴: 無料)	4回生	
7月9日(土)	【模試】 RDC 第1回	4回生	3回生
9月10日(土)	【模試】 かんもし 第1回	4回生	
10月(上旬)	<調査> 苦手分野の調査 (学内国試対策講座で活用)	4回生	
10月8日(土)	【模試】 RDC 第2回	4回生	3回生
11月10日(木)	願書記入説明会	4回生	
11月12日(土)	【模試】 かんもし 第2回	4回生	
1月(1ヶ月間)	(講座) 学内国家試験対策講座	4回生	
1月7日(土)	【模試】 RDC 第3回	4回生	3回生
1月21日(土)	(講座) RDC 超直前対策講座 (DVD 視聴: 有料)	4回生	
2月4日(土)	【模試】 かんもし 第3回	4回生	



### III. 第37回管理栄養士国家試験の結果及び合格率の推移

実施日 : 令和5年2月26日(日)

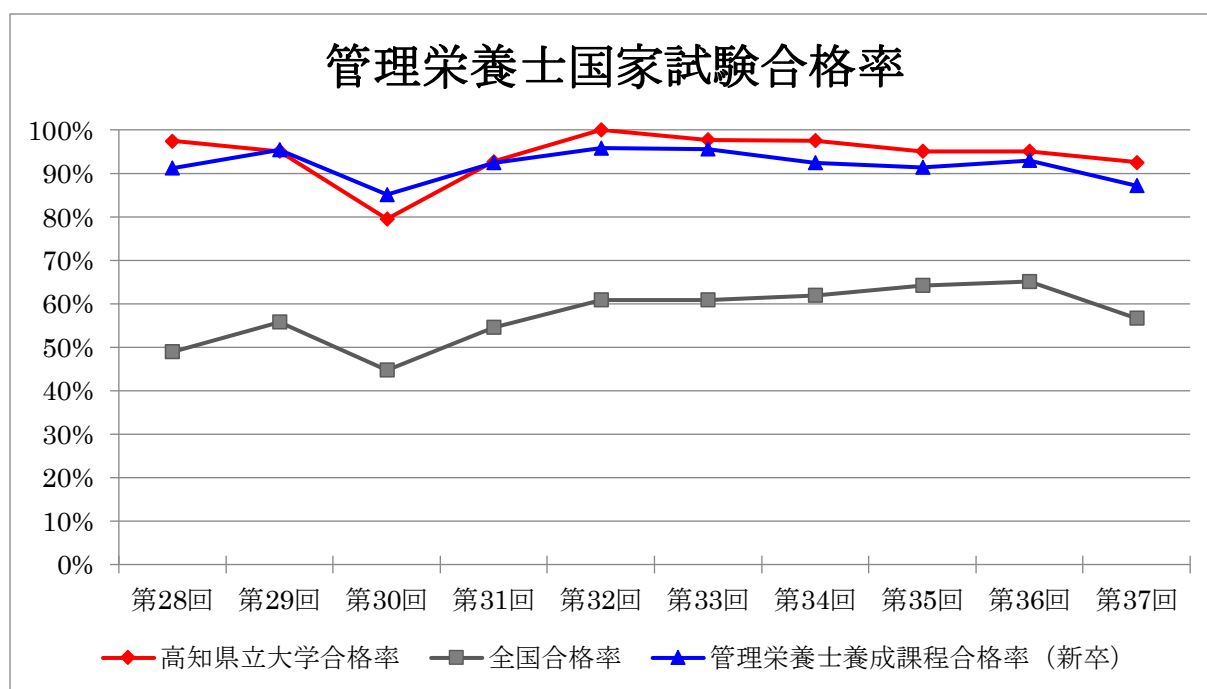
合格発表 : 令和5年3月24日(金)

受験者数 : 40名

合格者数 : 37名 合格率 : 92.5%

過去10年(第28回~第37回)の合格率

年次	高知県立大学			全国合格率	管理栄養士養成課程 (新卒) 合格率
	受験者数	合格者数	合格率		
平成25年(第28回)	38	37	97.4%	48.9%	91.2%
平成26年(第29回)	41	39	95.1%	55.7%	95.4%
平成27年(第30回)	39	31	79.5%	44.7%	85.1%
平成28年(第31回)	41	38	92.7%	54.6%	92.4%
平成29年(第32回)	41	41	100%	60.8%	95.8%
平成30年(第33回)	42	41	97.6%	60.4%	95.5%
令和1年(第34回)	40	39	97.5%	61.9%	92.4%
令和2年(第35回)	40	38	95.0%	64.2%	91.3%
令和3年(第36回)	41	39	95.1%	65.1%	92.9%
令和4年(第37回)	40	37	92.5%	56.6%	87.2%



#### IV. 国家試験対策に関する図書リスト（管理場所：国家試験対策室）

書名
クエスチョンバンク管理栄養士国家試験問題解説 2020
クエスチョンバンク管理栄養士国家試験問題解説 2023
管理栄養士国家試験のためのレビューブック 2019
管理栄養士国家試験のためのレビューブック 2020
管理栄養士国家試験のためのレビューブック 2021
管理栄養士国家試験のためのレビューブック 2022
管理栄養士国家試験のためのレビューブック 2023
オープンセサミシリーズ 管理栄養士国家試験対策完全合格教本 2020年版 上巻
オープンセサミシリーズ 管理栄養士国家試験対策完全合格教本 2020年版 下巻
オープンセサミシリーズ 管理栄養士国家試験対策完全合格教本 2021年版 上巻
オープンセサミシリーズ 管理栄養士国家試験対策完全合格教本 2021年版 下巻
オープンセサミシリーズ 管理栄養士国家試験対策完全合格教本 2022年版 上巻
オープンセサミシリーズ 管理栄養士国家試験対策完全合格教本 2022年版 下巻
オープンセサミシリーズ 管理栄養士国家試験対策完全合格教本 2023年版 上巻
オープンセサミシリーズ 管理栄養士国家試験対策完全合格教本 2023年版 下巻
2019 管理栄養士国家試験過去問解説集<第28回～第32回>5年分徹底解説
2021 管理栄養士国家試験過去問解説集<第30回～第34回>5年分徹底解説
2022 管理栄養士国家試験過去問解説集<第31回～第35回>5年分徹底解説
2023 管理栄養士国家試験過去問解説集<第32回～第36回>5年分徹底解説
管理栄養士国家試験対策オリジナル問題集—管理栄養士国試合格のエッセンス<第7巻>
管理栄養士国家試験対策オリジナル問題集—管理栄養士国試合格のエッセンス<第9巻>
管理栄養士国家試験 女子栄養大学オープン模試問題集
SGS 管理栄養士国家試験/過去問題&解説集 2019（第28回 - 第32回）
RDC 管理栄養士国家試験完全攻略 2020年版 29回～33回
解剖生理学 超速! ゴロ勉
栄養士・管理栄養士のためのなぜ?どうして? 1 第3版 基礎栄養学
栄養士・管理栄養士のためのなぜ?どうして? 1 第2版 人体の構造と機能/臨床栄養学①
栄養士・管理栄養士のためのなぜ?どうして? 2 第3版 人体の機能と構造/臨床栄養学①
栄養士・管理栄養士のためのなぜ?どうして? 3 第2版 人体の機能と構造/臨床栄養学②
栄養士・管理栄養士のためのなぜ?どうして? 4 第2版 人体の構造と機能/臨床栄養学③
栄養士・管理栄養士のためのなぜ?どうして? 5 第1版 公衆栄養学
栄養士・管理栄養士のためのなぜ?どうして? 5 第2版 応用栄養学
栄養士・管理栄養士のためのなぜ?どうして? 6 第1版 基礎栄養学/応用栄養学
栄養士・管理栄養士のためのなぜ?どうして? 6 第2版 給食経営管理論
栄養士・管理栄養士のためのなぜ?どうして? 1 第4版 基礎栄養学
栄養士・管理栄養士のためのなぜ?どうして? 2 第4版 人体の構造と機能/臨床栄養学①
栄養士・管理栄養士のためのなぜ?どうして? 3 第3版 人体の構造と機能/臨床栄養学②

病気がみえる vol.1 消化器 第5版
病気がみえる vol.1 消化器 第6版
病気がみえる vol.2 循環器 第4版
病気がみえる vol.2 循環器 第4版
病気がみえる vol.2 循環器 第5版
病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌 第4版
病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌 第5版
病気がみえる vol.4 呼吸器 第2版
病気がみえる vol.4 呼吸器 第3版
病気がみえる vol.5 血液 第1版
病気がみえる vol.5 血液 第2版
病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症 第1版
病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症 第2版
病気がみえる vol.7 脳・神経 第1版
病気がみえる vol.7 脳・神経 第2版
病気がみえる vol.8 腎・泌尿器 第2版
病気がみえる vol.8 腎・泌尿器 第3版
病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科 第3版
病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科 第4版
病気がみえる vol.10 産科 第3版
病気がみえる vol.10 産科 第4版
病気がみえる vol.11 運動器・整形外科 第1版
病気がみえる vol.12 眼科 第1版
病気がみえる vol.13 耳鼻咽喉科 第1版
病気がみえる vol.14 皮膚科 第1版
公衆衛生がみえる 2016-2017
公衆衛生がみえる 2018-2019
公衆衛生がみえる 2020-2021
公衆衛生がみえる 2022-2023
薬がみえる vol.1 第1版
薬がみえる vol.2 第1版
薬がみえる vol.3 第1版
薬がみえる vol.4 第1版
フィジカルアセスメントが見える
がんがみえる 第1版
からだが見える 人体の構造と機能 第1版

その他、ガイドライン、公務員試験に関する過去問題集及び参考書も管理しています。

## 12. 学部就職支援

渡邊浩幸，彼末富貴

### 1. 活動内容

#### 1) 学部の取り組み

平成 20(2008)年度より学部独自に 2 名の就職担当教員を配置し、就職支援に取り組んでいる。学部全体として、4 回生の早い時期から、学生個別に就活の状況を聞き、状況を把握し、相談にのり、前向きに進展するように声掛けを心掛けてきた。キャリアセンターの就職相談員を通してワクワク Work!! とも連携をとり、就職に関する指導と支援を続けている。

学部の就職担当教員は、学部主催の就職セミナーを企画・立案・実施した。他に、卒業研究指導教員や学年担当教員などと連携して、教員間で連絡を取り、求人情報の提供なども行い、学生の就職活動の活性化を促している。また、ワクワク Work!! 主催の就職ガイダンスやセミナーへの積極的な参加を促している。学生の希望する職種に就職した卒業生を紹介し、就職先や受験勉強対策について直接相談する橋渡しの役目も行っている。

各学生の卒業研究指導教員は、相談を受け、指導し激励し支援を行っている。学部の教員は、申し出のあった学生の就活提出書類の添削・指導も行っている。

#### 【学部主催就職セミナー】

健康栄養学部では、学部主催の就職セミナーを平成 20 年度より開催してきた。しかし、令和 2 年と 3 年は、コロナ禍での講師の負担を考慮し、開催を見送ってきた。今年度の令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染防止対策をして、対面と Zoom の併用で開催した。

11 月 26 日には、健康栄養学部学生を対象として、社会で活躍している卒業生 3 名を講師に招いて行った。また、学生就職支援課（ワクワク Work!!）からの紹介をいただき、企業における管理栄養士の役割について、企業の方からの説明会を同時に開催した。

また、1 月 13 日には、10 月に就職が内定した 4 回生 4 名を講師にお願いして、対面で実施した。

2 回とも各講師から全体に体験談を話してもらった後、在学生からの質問に答えてもらう質問タイムを設ける形式で行った。学生が聞きたいことを質問しやすいような実施を心掛けた。

参加感想アンケート結果をみると、就職活動の活性化につながる、下級生が就活の進め方、情報収集の仕方などを知る機会となる、就活への不安を軽減するだけでなく、自分のやりたい職種を絞るきっかけになる、日々の授業の重要性を認識し、管理栄養士国家試験勉強を早期に始める動機付けとなるなど、よい刺激になっていると思われる。学生にとって、将来の仕事・就職活動・日々の勉強・学生生活について真剣に考える貴重な機会になっていると感じる。下記にその詳細を示す。

#### ●令和 4 年度第 1 回 健康栄養学部就職セミナー ～卒業生を迎えて～

2022 年 11 月 26 日(土)9:00～12:30

参加者数 59 名、参加率 47% (1 回生 24%、2 回生 35%、3 回生 85%)

#### 健康栄養学部卒業生講師

平成 28 年度卒 安岡 (旧姓：山中) 麻衣さん (高知県栄養教諭)

平成 29 年度卒 大倉 望さん (高知赤十字病院)

令和 2 年度卒 一田山 七海さん (四国明治株式会社：株式会社明治 四国エリア)

## 企業講師

うえの歯科医院 様（横浜市）： 管理栄養士・歯科助手

株式会社中温 様（愛媛県）： 食品メーカー・食品開発

社会で活躍している卒業生が講師を務め、仕事の内容や就活での経験や 管理栄養士国家試験の勉強法などを発表し質問タイムで相談に乗った。それぞれの職種について学生の理解が深まった。また、うえの歯科医院様からは、Zoomにより歯科医院における管理栄養士の役割について解説をしていただいた。株式会社中温様からは、自社独自の食品開発の内容や今後の応用研究など、管理栄養士だからこそ食品の研究開発を担当する意義や役割について解説していただいた。

## アンケート結果

回収率 69.5% (41名)

満足度 非常に良かった73%、良かった17%、未回答10%

## 個々の感想

### 【3回生】

- ・病院に就職を希望しているので、いつ頃からどのようなことをしたらいいのかが参考になる部分が多く非常に勉強になりました。個別質問タイムでも、病院の臨床分野に進んだことで分かった臨床分野のデメリットや病院見学時のポイントなど参考になる部分が多く、これからの就職活動への刺激になりました。
- ・栄養教諭の先輩の話に一番刺激を受けました。理由として、自分が栄養教諭に興味を持っていることもあるが、栄養教諭の一番大切なことは食育よりも安全な給食管理であることを改めて理解することができた。
- ・就職活動のことをなかなか聞く機会がなかったので、何社受けたのかや、就職活動をするにおいて、自分の強みをどう見つけたか、また、どのような強み、経験をもって就活に挑んだのかなどもとても参考になりました。
- ・就活をする上では、『自分のしたいことの軸を持つことが大切である』ということがとても心に残りました。管理栄養士には幅広い職があり、どこから考えればいいのかとても迷っていましたが、自分のしたいことを明確にすることで絞り込みができ、目標ができるのだということが分かり、自分のしなければいけないことが以前よりも明確になりました。
- ・早いうちから自己分析やテスト対策を始め、自分の得意分野を増やし、第一希望だけではなく様々な企業に目を向けて就職活動を行うことが大切だということを学ぶことが出来ました。就職活動において、どのようなことから始めれば良いか分からなかったのですが、自己分析とSPI対策から始めると良いということを学んだので、スケジュール管理をしっかりと行い、就職活動を進めていきたいと思いました。
- ・一度県外で病院栄養士を経験し、転職を経て現在の病院に勤務なさっていることから、病院栄養士になる為の就職活動方法や心構えだけでなく、転職時に必要となるスキルや勉強、活動の仕方等を詳しく教わることができ、これから就職活動を行う上での視野が広がったように感じました。
- ・早め早めの就職活動、国家試験対策が必要とのことだったため、今のうちからインターンシップや情報を集め、後悔のないよう自分に合った就職先を見つけたいと感じました。
- ・イメージがなかった歯医者勤務の管理栄養士の方のお話等を聞くことができ、栄養士の就職先の幅広さを改めて実感することができました。

- ・進路のことについて考える良い機会になった。1,2回生の時にも聞ければよかったと感じた。今迷っているが、情報収集を行い明確にしていきたいと思った。
- ・いつから始めてどんな対策をしていたかを聞いて参考になった。転職の話もなかなか聞けないと思うので参考になりました。
- ・教員採用についてや実際の業務についてを学ぶことができ、就職について具体的なイメージをすることができた。
- ・進路を一つに絞るのではなくインターンなどに積極的に参加して視野を広げることが重要。

### 【2回生】

- ・企業の仕事内容や就活の進め方についての話などから刺激をもらった。
- ・国試の勉強だけをしていくイメージを持っていましたが、就活についてのイメージを強く持つことができた。
- ・教員採用試験や国家試験を突破するには、早めの準備と、問題を繰り返し解いていくことが大事だと改めて実感できた。

### 【1回生】

- ・病院に興味があったのですが、ドラッグストアや企業の仕事内容に興味がわきました。
- ・どの仕事も早めに対策をして、毎日の授業の復習が大切とわかったので、今から少しずつでも国試につながる勉強をしたり、インターンなどにも積極的に参加して行動したいと思った。
- ・始めるのに早すぎることはないとおしゃっていて、今進路が未定だからこそ、今から考えてみようと思いました。

## ●令和4年度第2回健康栄養学部就職セミナー～健栄 教えて！先輩～

2022年1月13日(月)16:30～18:00

参加者数 50名 参加率 40% (1回生 10%、2回生 23%、3回生 90%)

講師：4回生就職内定者3名

- 野村 実央さん(神戸市民病院機構 管理栄養士)
- 前川 希さん(ドラッグストア mac 管理栄養士)
- 持丸 快斗さん(株式会社トーカン 食品開発)

内定を勝ち取った4回生3名が、就活の流れや対策、その職種を選んだ理由、管理栄養士国家試験対策の勉強法などを発表し、質問タイムで下級生の相談に乗った。

### アンケート結果

回収率 56% (28名)

満足度 非常に良かった64%、良かった21%、普通7%、未回答7%

### 個々の感想

### 【3回生】

- ・計画的に熱心に勉強されていて、自分も真剣に取り組まないといけないと思った。
- ・勉強の仕方や就職活動の方法について、まだわからないところもあったため、とても参考になった。
- ・実際に今後の就職活動の流れのイメージを持つことができ、これから何を考え行動していけばよいかわかりとても身になった。

- ・自己分析の話から、どういうところが自分の自己分析に足りていないのかがわかった。
- ・自己分析から国家試験勉強までやらなければならないことが沢山あり、すべきことが見えた。
- ・3回生の冬以前に始めたというような言葉を聞き、早く行動に移さないと、と刺激をもらった。
- ・落ちることはあたりまえという内容に少し勇気をもらえました。これから就活するにあたって落ちたとしてもポジティブに挑んでいけそうです。
- ・就職活動はもう目の前に迫って生きているのでその自覚をもって準備していかなければならないと改めて再確認することが出来た。

#### 【2回生】

- ・実際病院に足を運んで見学していたことが印象的だった。自分が働くところなので積極的に動いて就職先について知ったり、姿勢を見せることが大切だと思った。

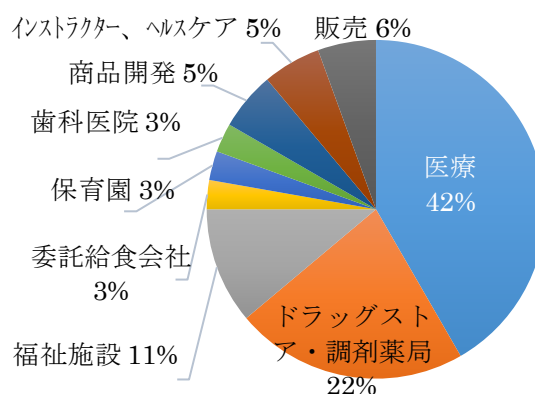
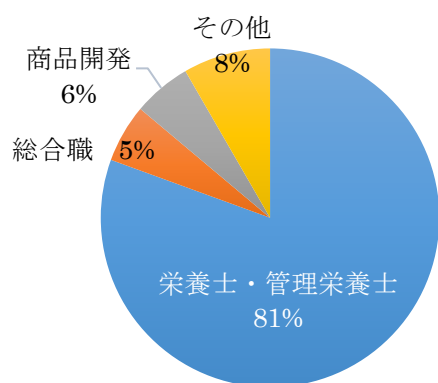
#### 【1回生】

- ・皆さんがそれぞれいつ、どんなことをやり始めたかを聞いて、この先やるべきことの参考になりました。
- ・自分の卒業後について身近に感じて有意義な時間だった。

## 2. 成果

令和4年度の卒業生42名で、就職希望が41名、進学が3名であった。就職内定率は100%であった。ワクワク Work!!職員・キャリア支援委員・学部就職担当教員・卒業研究担当教員・学年担当教員の連携した支援・個別指導が学生のやる気を引き出し、内定を取ることに繋がったと考えられる。管理栄養士の資格を活かさない就職先を希望する学生もおり、そのような学生には資格を活かした職業に就くことの良さを伝えるようにした。卒業生は一般企業から管理栄養士職に転職する場合がある実情から、将来意識が変わる可能性もあることを話し、管理栄養士職への就職を考えるように勧めることを心掛けた。就職活動での成果ばかりでなく、いかに日々の授業での勉強が大切かに気付く機会にもなっていると思われる。就職セミナーでの発表の中で、講師の卒業生がワクワク Work!!の就職ガイダンスに積極的に参加した方がよいとたびたび話してくれることもあり、毎年3回生は積極的に就職ガイダンスやセミナーに参加し、4回生での就活本番に向けての準備がより早くできていると思われた。また、4回生はワクワク Work!!に相談に行く回数も多く、学部就職担当教員・卒業研究担当教員・その他の学部教員も相談に乗っている。

次に、内定先の業界別および職種別内訳を示す。



職種別

業界別

令和4年度 就職先の職種別および業界別内訳

### 3. 令和5年度の課題

卒業後の就職は、学部の大きな役割の一つである。健康栄養学部就職支援担当教員は、ワクワク Work!!と密に連絡を取り合い、情報を共有して、令和4年度卒業生も就職内定率 100%を達成した。ワクワク Work!!職員は、学生一人ひとりの性格に合ったきめ細かい就職支援をし、模擬面接などを行うなど手厚くサポートしており、就職内定率 100%になったのもキャリアセンター職員のサポートによるところが大きく、本学部学生も篤い信頼を寄せている。

今後も健康栄養学部就職担当として、学生それぞれの考えや希望を各学生から直接個別に聞き、学内関係部署との連携を図り、学部就職担当教員・卒業研究指導教員・学年担当教員・キャリア支援委員・ワクワク Work!!職員の協力体制をより充実させ、学生一人ひとりの個性に合った個別指導をしていくことが重要と考える。また、2年間開催ができなかった学部主催の就職セミナーは、学生に就職に対する動機づけとなり刺激を与えており、今後も継続することは意義あることと考えている。



## 13. ファカルティ・デベロップメント (FD) 研修会

廣内智子

### 【概要】

令和4年度は、全学FD研修会に本学部から1名が講師として参加しました。多様な学習ニーズに対応する教育内容・方法を充実するために、パフォーマンス課題に基づいたルーブリックの実践例から成果と課題を共有し、教育方法の改善を図りました。学部FD研修会は3回開催しました。合同災害訓練の振り返りでは、看護学部防災プロジェクト委員の木下真理先生、社会福祉学部防災プロジェクト委員の辻先生、福田敏秀先生にもご出席頂き、災害時におけるチーム連携について、活発にディスカッションができました。

### 1. 全学FD研修会

日時：令和5年3月7日(火) 13:00~14:30

方法：Zoomにて遠隔開催

テーマ：パフォーマンス課題におけるルーブリックの実践例紹介

講師：文化学部 准教授 菊池 直人

看護学部 教授 大川 宣容、助教 森本 紗磨美、助教 田中 雅美、助教 神家 ひとみ

社会福祉学部 准教授 河内 康文

健康栄養学部 講師 廣内 智子

### 2. 健康栄養学部FD研修会

#### 【第1回FD研修会】

テーマ：食物アレルギーへのアプローチ～研究の軌跡～

講師：竹本 和仁

時期：令和4年10月24日(月) 17:30～

方法：Zoomにて遠隔開催

参加者：18名(学部教員13名, 高知医療センター栄養局5名)

#### 【第2回FD研修会】

テーマ：栄養アセスメント「画像認識による栄養価計算アプリケーションの有用性を検討する」

講師：荒牧礼子

時期：令和4年11月21日(月) 17:30～

方法：Zoomにて遠隔開催

参加者：18名(学部教員13名, 高知医療センター栄養局5名)

#### 【第3回FD研修会】

テーマ：合同災害訓練の振り返り及び情報共有

講師：防災プロジェクト委員(廣内智子・島田郁子)

時期：令和4年12月12日(月) 17:30～

方法：Zoomにて遠隔開催

参加者：16名(学部教員11名, 他学部教員3名, 高知医療センター栄養局2名)

## 14. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会 健康栄養連携部会事業

島田郁子, 生川卓弘, 小山智久

### 1. YouTubeによる動画配信「テーマ：腎臓病食のポイント(カリウム制限)」

高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会健康栄養連携部会の事業の一環として、腎臓病食のポイント「カリウム制限」を題材とした動画を作成いたしました。

慢性腎臓病の治療に食事療法は重要であり、食事療法を適正に実施することで重症化予防が期待できます。食事療法は医師の指示のもと、管理栄養士によって個々の患者の方々に適した栄養指導を実施しています。実際の指導を行っていくにあたって、患者の方々から「カリウム制限についてよくわからない、具体的な方法を知りたい」といった意見が聞かれます。以上の背景から食事療法におけるセルフケアの支援を行うことは重要な意義を持ちます。例年、対面で直接患者の方々と交流する料理教室を開催していましたが、COVID-19の感染拡大の恐れが残っていたため、代案として動画を作成し、YouTubeでの配信を目指すこととしました。テーマとして「腎臓病食のポイント(カリウム制限)(1)果物編、(2)野菜のゆでこぼし編として撮影・編集を行いました。

### 2. 事業メンバー

高知県立大学健康栄養学部：島田郁子, 生川卓弘, 小山智久

高知医療センター栄養局：十萬敬子、小谷小枝、坂本彩乃、赤松遥

合計7名

動画撮影にあたっては、高知県立大学健康長寿センター事務スタッフの協力を得た。

### 3. 活動成果

#### 【スケジュール】

6月～10月：打ち合わせ(Web会議)

10月～11月：シナリオの作成、確認・修正作業

11月～2月：撮影本番 ・果物編(高知県立大学担当)

・野菜のゆでこぼし編(高知医療センター担当)

3月～：編集作業

#### 【業務分担】

##### ▶ 高知県立大学

- ・果物編のシナリオの作成、撮影、編集
- ・撮影機材の準備
- ・出演する学生の確保

高知医療センター(野菜のゆでこぼし編の動画撮影)

- ・野菜のゆでこぼし編のシナリオの作成、撮影、編集

【食材費】（高知県立大学、高知医療センターそれぞれが負担）

高知県立大学 果物 816 円（税込み）

高知医療センター 果物 1,745 円（税込み）

合計：2,561 円（税込み）

【人件費】

学生アルバイト代

860 円×3 名×6 時間＝15,480 円

#### 4. 活動評価

現在動画は編集中であり、令和 5 年度中に YouTube にて配信する予定です。当動画を視聴することをきっかけとして、慢性腎臓病の治療食調理やコツに疑問を感じていた方々に対し、具体的な調理方法や食べられる料理の分量、カリウム制限について学ぶことが可能となります。それにより、全国の慢性腎臓病患者やご家族の方がこれまで以上にカリウム量をコントロールしやすくなることが望めます。

学生らは、この動画に参加することで、慢性腎臓病の方の食事の工夫について学ぶ良い機会になったと思われます。



## 15. 高知医療センター・高知県立大学合同災害訓練

廣内智子，島田郁子

### 【訓練全体の概要】

実施日時：2022年11月27日（日）8：45～12：00 ごろ

令和4年11月18日（金曜）午前8時45分発災の南海トラフ大地震の想定。平日であり、学内には、教職員の他、学生もいる想定。Part1（避難訓練）および Part2（合同災害訓練）の二部構成で実施し、Part1 終了後、Part2 の訓練に移行する。

### 【健康栄養学部の訓練】

#### 1. 訓練の目的

新型コロナウイルス感染症の流行の可能性がある時期に大規模な自然災害が発生したことを想定し、フェーズ0（概ね発災後24時間以内）でライフラインが使えない環境下において、避難者（学生及び地域住民）に対して、3密回避および衛生管理を徹底した栄養・食生活支援を模範的に行う。

#### 2. 備蓄食の受け渡し

- ・高知医療センターから高知県立大学へ マジックライス炊き出し白米（50食分）×4箱  
そのままご飯30食／箱 ×4箱
- ・高知県立大学から高知医療センターへ 飲料水を8箱（192本）

#### 3. Part 1（避難訓練の様子）



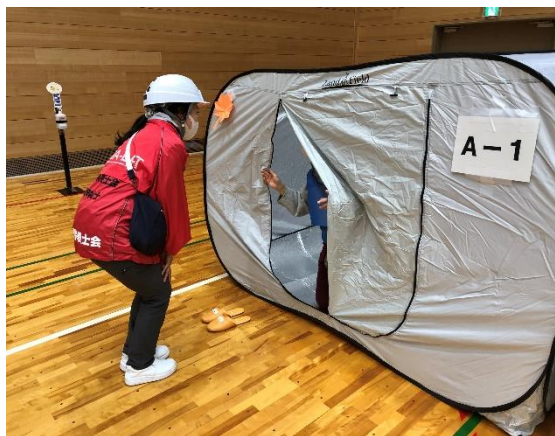
A306 教室及び調理学実習室における学生の避難経路及び一次避難場所の検討を行った。



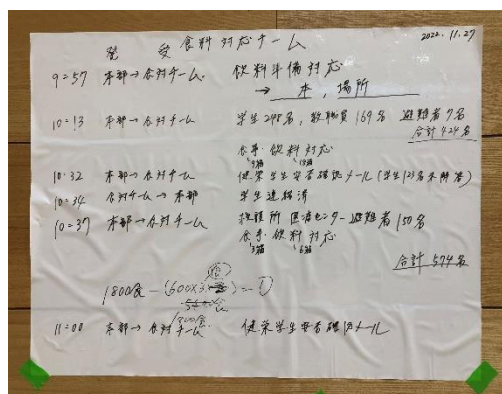
実際に教室で避難者用テントを設置し、教室あたりに設置できるテント数やテントあたりの収容人数などの検討を行った。



#### 4. Part 2 (合同災害訓練の様子)



一世帯ごとに避難所用テントに入って頂き、食事はテント内で食べて頂くことで飛沫感染も予防でき、プライバシーも守れることが訓練を通して分かった。また、食事提供においても、体育館内及び車中泊の避難者には、個別配食ではなく世帯配食として対応し、配食時の混雑を回避することが可能となった。



情報伝達訓練では、リーダー以外の人が書記になって、物事を時系列で記録することで、周囲のスタッフがリーダーを補佐する体制がとれた。一方で、備蓄食数の勘違いによって回答ミスを招いてしまい、一覧表の見直しが課題となった。

#### 5. 訓練を通して

- 全教員にヘルメットが配布されており、災害時でも安全が確保されていた。
- 体育館の塗装工事のために周囲に足場が組まれており、体育館の扉を開けることが出来なかったため、体育館の外と中の移動を伴う訓練が出来なかった。
- 調理学実習室には、発災時に学生が身を隠す場所がないため、出入口の確保と速やかな避難が検討課題である。
- 情報伝達訓練で活用した備蓄食数の一覧表は、誤解を招きやすい内容であったため、訓練終了後、分かりやすい一覧表へと改善を行った。
- 避難者用テントを活用したことで、避難者を世帯ごとに把握することができた。これにより、必要食数やアレルギー情報などの管理がスムーズとなった。また、世帯ごとに管理することで、車中泊の避難者対応も混乱することなく配食することが出来た。
- 備蓄している飲料水は、救護等にも使用する可能性があるが、現状の備蓄量では不足する。
- 全学で検討すべき事項と学部で検討すべき事項に分けて、必要に応じて他のチーム（他学部）と連携する必要がある。

## 16. 委員会一覧

委員会名		担当者	委員会名		担当者
教育研究審議会		村上尚	研究活動不正防止委員会		村上尚
部局長会議		村上尚	大学教育改革委員会		村上尚
地域教育研究センター (AERU)			学術研究戦略委員会		村上尚
地域教育研究センター運営会議		渡邊浩幸	教員評価委員会		村上尚
共通教育部会		竹井悠一郎	自己点検・評価運営委員会		村上尚
地域連携部会		渡邊浩幸	研究倫理委員会		村上尚
教務委員会		西岡道子	産官学研究プロジェクト委員長		渡邊浩幸
教職課程専門委員会		笠原賀子	立志社中運営委員会		渡邊浩幸
健康長寿センター運営委員会		荒牧礼子, 生川卓弘	キャリア支援部会		荒牧礼子
とさつ子健診プロジェクト		荒牧礼子	FD委員会		廣内智子
地域ケア会議推進プロジェクト		隅田有公子	紀要編集委員会		鈴木麻希子
入退院支援事業		廣内智子	履修証明プログラム(BP)実施委員		荒牧礼子
訪問看護育成講座		廣内智子	災害対策プロジェクト委員	廣内智子, 島田郁子	
学生委員会		島田郁子	遺伝子組換え実験安全委員会	村上尚, 鈴木麻希子, 竹井悠一郎	
国際交流センター運営委員会		竹井悠一郎			
健康管理センター運営委員会		島田郁子	動物実験委員会	村上尚, 渡邊浩幸, 竹井悠一郎	
総合情報センター運営委員会					
図書館委員会		隅田有公子	学年担当	1回生	鈴木麻希子, 小山智久
情報処理施設委員会		竹本和仁		2回生	荒牧礼子, 隅田有公子
広報委員会		村上尚(彼末富貴)	教員	3回生	島田郁子, 生川卓弘
人権委員会		鈴木麻希子		4回生	廣内智子, 竹本和仁
学部	学部運営会議		村上尚, 小林淳, 渡邊浩幸, 荒牧礼子		
	学部教務委員会		村上尚, 西岡道子, 竹井悠一郎		
	健康栄養に係る研究倫理審査委員会		村上尚, 鈴木麻希子, 西岡道子		
	学部研究倫理審査委員会		村上尚, 鈴木麻希子, 西岡道子, 小林淳, 細木病院深田順一		
	国家試験対策委員会		廣内智子, 竹本和仁		
	国際交流ワーキング		竹井悠一郎, 村上尚, 小林淳, 渡邊浩幸, 荒牧礼子, 島田郁子, 竹本和仁		
	就職支援		渡邊浩幸, 彼末富貴		
	学部報編集委員		村上尚, 彼末富貴		
	医療センター包括連携委員		廣内智子		
	包括連携料理教室担当		島田郁子, 生川卓弘, 小山智久		
	広報		彼末富貴		
	臨地実習委員会		竹井悠一郎, 荒牧礼子, 島田郁子, 廣内智子, 隅田有公子, 生川卓弘, 小山智久		
近森病院見学担当		廣内智子, 竹本和仁			

17. 入学試験状況の概要(2023年度)

区分		募集 人員 A (名)	志願者数B(名)		受験者数C(名)		合格者数 D(名)		入学者数 (名)		志願 倍率 (%)	合格 倍率 (%)
			全体	県内	全体	県内	全体	県内	全体	県内		
推 薦	一般 県内	12	24	24	24	24	13	13	13	13	2.0	1.8
	一般 全国	5	20	0	20	0	5	0	5	0	4.0	4.0
	合計	17	44	24	44	24	18	13	18	13	2.6	2.4
個 別	前期	23	51	14	43	13	27	7	23	6	2.2	1.6
	社会人	若干 名	2	0	2	0	0	0	0	0	—	—
	私費外国 人留学生	若干 名	3		1		0		0		—	—
	合計	40	100	38	90	37	45	20	42	19	2.5	2.0

18. 進学説明会・本学訪問・365日オープンキャンパス・出前授業状況

進学説明会への 参加回数	本学訪問学校数	365日オープンキャンパス 来校生徒数	出前授業
0回	1校	23人	2校(県内)

365日オープンキャンパスをはじめ様々な活動が10月からの再開となった。





## Ⅱ．学生の記録

1. 学生の都道府県別出身高校数
2. 教育における学外施設の利用状況
3. 資格所得状況の概要
4. 国家試験の合格者状況（新卒者）
5. 就職状況の概要
6. インターンシップの実施状況
7. 学生の海外研修等
8. 健康栄養フィールドワーク
9. 卒業研究題目一覧
10. 学生の受賞
11. 学生の課外活動・イベントでの特徴的な事項の一覧



## 1. 学生の都道府県別出身高校数

(単位：名)

	1回生	2回生	3回生	4回生	合計
北海道					
青森県					
岩手県					
宮城県					
秋田県					
山形県					
福島県					
茨城県					
栃木県					
群馬県			1		1
埼玉県					
千葉県					
東京都	1			1	2
神奈川県					
新潟県					
富山県					
石川県					
福井県			1		1
山梨県				1	1
長野県					
岐阜県	1	3		1	5
静岡県	2	2			4
愛知県	3	1	1	1	6
三重県		1		2	3
滋賀県	1				1
京都府			1	1	2
大阪府		2	3		5
兵庫県	4	7	2	5	18
奈良県				1	1
和歌山県	1				1
鳥取県		1		1	2
島根県	2			1	3
岡山県	2	1	2	1	6
広島県		1	2		3
山口県					
徳島県	4	4	4	2	14
香川県	1	3	1	2	7
愛媛県	2	1	3	4	10
高知県	15	14	18	13	60
福岡県		1			1
佐賀県				1	1
長崎県					
熊本県				1	1
大分県			1		1
宮崎県	2			1	3
鹿児島県				1	1
沖縄県	1	1			2
中華人民共和国				1	1
合計	42	43	40	42	167

## 2. 教育における学外施設の利用状況

実習名	実習先	実習期間	実習生(名)
地域公衆栄養学 臨地実習	安芸福祉保健所	2022. 8. 22～8. 26	8
	中央東福祉保健所	2022. 8. 22～8. 26	7
	高知市保健所	2022. 8. 22～8. 26	8
	中央西福祉保健所	2022. 8. 22～8. 26	8
	須崎福祉保健所	2022. 8. 22～8. 26	5
	幡多福祉保健所	2022. 8. 22～8. 26	3
給食経営管理 臨地実習	田中整形外科病院	2022. 8. 29～9. 2	4
	陸上自衛隊高知駐屯地	2021. 9. 5～9. 9	4
	学内	2022. 9. 2, 9. 5～9. 8	31
臨床栄養学 臨地実習Ⅰ・Ⅱ	高知医療センター (学内併用)	2022. 2. 15～2. 21, 11. 15～11. 22, 12. 9	14
		2022. 2. 15～2. 21, 11. 21～11. 30, 12. 9	13
	近森病院(学内併用)	2022. 2. 15～2. 21, 7. 11～7. 14, 12. 9	4
		2022. 2. 15～2. 21, 7. 25～7. 28, 12. 9	3
	国立病院機構 高知病院 (学内併用)	2022. 2. 15～2. 21, 8. 22～8. 25, 12. 9	2
		2022. 2. 15～2. 21, 9. 12～9. 15, 12. 9	2
	JA 高知病院(学内併用)	2022. 2. 15～2. 21, 11. 8～11. 11, 12. 9	3
地域実践栄養学 臨地実習	コロナの影響で実習なし		
教育実習 (栄養教諭)	南国市立岡豊小学校	2022. 5. 16～5. 27	1
	松山市立久谷中学校	2022. 5. 23～6. 3	1
	鹿児島市立玉江小学校	2022. 5. 29～6. 10	1
	川西市立明峰小学校	2022. 5. 16～5. 27	1

## 3. 資格取得状況の概要

(単位：名)

管理栄養士国家試験受験資格	栄養士免許証	栄養教諭一種
41	41	4

#### 4. 国家試験の合格者状況（新卒者）

受験年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
国家試験回数	第37回	第36回	第35回	第34回
受験者数（名）	40	41	40	40
合格者数（名）	37	39	38	39
合格率	92.5%	95.1%	95.0%	97.5%

#### 5. 就職状況の概要

		人数
管理栄養士 ・ 栄養士	医療	15
	ドラッグストア・調剤薬局	8
	保健福祉サービス	4
	保育園	1
	委託給食	1
	歯科医院	1
商品開発		2
その他 一般企業等		4
進学	大学院	4
	その他	1
卒業生数		41

#### 6. インターンシップの実施状況（延べ人数）

（単位：名）

	1回生	2回生	3回生	4回生
企業・県庁等	0	0	0	0

#### 7. 学生の海外研修等

今年度は中止

## 8. 健康栄養フィールドワーク

廣内智子, 島田郁子

令和3年度から新しく開講された「健康栄養フィールドワーク」。地域の人々と協同して活動することを通して、栄養士としての多様な考え方や価値観についての理解を深める授業です。

令和4年度は、5か所のフィールドで実習を行いました。各実習先では大変お世話になりました。ありがとうございました。

### 1. 山北みかん実習

学生数：11名

フィールド：香南市香我美町

現地実習日：10月8日(土)、10月15日(土)、  
11月6日(日)



#### 【実習概要】

極早生と早生の山北みかんの収穫・剪定作業を手伝わせて頂きました。極早生と早生は見た目だけでなく、味の違い(甘さと酸味のバランス)についても試食を通して学びました。食品の流通や剪定作業の難しさ、品質管理、生産者の消費者への思いもなどを知ることが出来ました。その地域の地産地消の重要性を理解し、ジャムづくりを通して食品の加工や衛生管理について学びました。



### 2. ニンニク実習

学生数：11名

フィールド：南国市、香南市

現地実習日：5月15日(日)、11月23日(水)

#### 【実習概要】

南国農家では、栽培期間中、農薬、化成肥料を使わずに育てたニンニクを栽培しています。

現地実習

1日目：南国農家のニンニク畑で、去年、先輩たちが植えたニンニクの収穫体験を行いました。

地域の人々との連携における栄養士の役割について自主的に学びを深めました。



2日目：「お弁当向き」「手軽」をテーマに、収穫したニンニクやニンニク味噌を使ったオリジナルレシピを考案しました。

農家さんに試食して頂き 19 のレシピを作成しました。また、南国農家直販店に掲示するポップを作成しました。

ニンニクの収穫では無農薬でニンニクを栽培することの大変さを学び、レシピ作成では収穫したニンニクの活用方法や販売方法について知る経験となりました。



### さばと大葉のニンニクみそ焼き

お手軽
お弁当に○



**作り方**

- ① さばを5等分に切り、大葉を1枚ずつ巻く。
- ② ①に片栗粉をまぶす。
- ③ ボウルに酒、ニンニク味噌、はちみつを入れて混ぜ合わせる。
- ④ フライパンにサラダ油をひいてさばを中火でこんがり焼き色がつくまで焼く。
- ⑤ 弱火にし、③を加えて全体的に絡んだら火から下ろし、盛りつける。

**材料（2人分）**

- ・ さば 1枚
- ・ 大葉 5枚
- ・ 片栗粉 大さじ1
- ・ 酒 大さじ1
- ・ **黒ニンニク味噌** 大さじ1
- ・ はちみつ 小さじ1
- ・ サラダ油 大さじ1

調理時間  
約20分



**一口メモ**

大葉が香りや味がアクセントになっておいしい！  
冷めてもおいしいのでお弁当にも良いかも！

考案 高知県立大学健康栄養学部  
令和4年度 健康栄養フィールドワーク実習生



### 3. 野菜栽培

学生数：10名

フィールド：土佐市、須崎市

現地実習日：5月15日(日)、7月2日(土)、10月29日(土)

#### 【実習概要】

定年退職後に第二の人生を充実させるべく、趣味として夫婦で始めた野菜栽培。学生たちは、種まきや苗の植え付け、収穫などの一連の農作業を体験し、時期によって収穫できる農作物の違いを学びました。

#### 現地実習

1日目：えんどうの収穫やスイカの花つけ

2日目：スイカやトマトの収穫。

3日目：さつまいもや柿を収穫し、それを調理して試食しました。

スーパーなどで見ていた野菜がどのように育てられていくのか、土壌管理や水やりのタイミングなど季節を通して学習しました。手間暇をかけた野菜を自ら収穫し、調理して食べることで、野菜栽培の魅力を感じる体験となりました。旬の野菜や果物を収穫し調理して食べる事のありがたさを実感した実習となりました。





#### 4. 防災カフェ

学生数：6名

フィールド：高知市宝町

現地実習日：7月23日(土)、8月26日(金)、9月10日(土)

##### 【実習概要】

宝町では公民館「いこいの家」にて「防災カフェ」と呼ばれる防災活動が取り組まれています。

学生たちは2人ペアになって防災カフェの企画・運営を行いました。

現地実習

1回目：パッククッキング(ミネストローネ)と防災すごろく

2回目：パッククッキング(和風パスタ、蒸しパン)、ビニール袋を使って防災グッズ作り

3回目：パッククッキング(みそ煮さばじゃが、キャベツとツナのポン酢和え)、防災かるた  
地域の方に、災害時でも美味しく食べられる調理法や防災知識を紹介し、パッククッキングで調理した防災食を提供しました。企画から運営を行うことで、地域の方と交流を深めることができ、「楽しく学べた」などのお言葉をいただくことができました。

実習を通して学生達の防災知識も向上しました。



蒸しパン



#### 5. 御豊瀬のフレイル対策

学生数：6名

実習場所：御豊瀬ふれあいセンター

現地実習日：6月19日(日)、8月24日(水)、9月27日(火)

##### 【実習概要】

御豊瀬地域の方と交流し、御豊瀬地域の特産品であるオキウルメを用いた郷土料理を教えてくださいました。その後、学生たちが郷土料理の再現にチャレンジしました。さらに、地域の方の健康状態や食生活を伺い、フレイル予防を目的に沖ウルメをつかったアレンジレシピを考案し、地域の方に料理を試食して頂きました。

現地実習

1日目：実習を通して、学生達はフレイルについて知識を深め、健康を維持する食材や食べやすい野菜の切り方、食感、誤嚥を起こさないためのとろみ付けなど、一つ一つに着目し、対象者の事を考えて試作を重ねてレシピを考えました。実際に試食をしてご意見を頂くことで、改善点や味つけについて考える機会となりました。

御豊瀬地区にある「みなや」で開かれたイベントに参加し、集まった高齢者の方から食生活や健康状態についてお話を伺い、御豊瀬地区の郷土料理や特産品についても教えてくださいました。



- 2日目：御豊瀬ふれあいセンターにて地域の方から、オキウルメを用いた郷土料理「つみれ汁」と「へら焼き」の作り方を教えて頂いた。
- 3日目：学生たちは、教えて頂いた郷土料理をもとに、オキウルメを使ったフレイル予防アレンジレシピとして、「沖ウルメつみれのあんかけ」と「沖ウルメのつみれ汁」を考案し地域の方に提供した。集まった13名の地域の方には好評でした。



## オキウルメを使ったフレイル予防アレンジレシピ

### フレイルとは

健康と要介護状態（寝たきり）の間を指し、「加齢によって心身が衰え、社会とのつながりが減少した状態」のことをいいます。フレイルの予防、改善では、「栄養」、「身体活動」、「社会参加」の三つの面でケアしていくことが重要ですが、今回は「栄養」に着目しました。オキウルメを使って、フレイル予防になるレシピを考えましたので、ぜひ作って食べてみてください!!



### 沖ウルメつみれのあんかけ

材料(2人分)

・沖ウルメ 2~3匹	・大葉 2枚
・しょうが 少々	・枝豆 15g
・塩 少々	・片栗粉 小さじ2
・人参 50g	・しょうゆ 大さじ1
・ピーマン 40g	・水 120ml
・玉ねぎ ¼個	・油 適量
・ネギ 適量	・だし 適量

#### 作り方

- ① 野菜を食べやすい大きさに切る。
  - ② 枝豆はゆで、身を粗みじん切りにする。
  - ③ すり身に枝豆、大葉を加え、混ぜ合わせる。
  - ④ スプーンで一口大にし、油を引いたフライパンで焼き色がつくまで焼く。
  - ⑤ 焼き色がついたらひっくり返して、水を少々入れ、蓋をして蒸し焼きにする。
- (あんかけの作り方)
- ① 鍋に120mlの水と市販のだし（適量）としょうゆをいれ、沸騰させる。
  - ② 人参、ピーマン、玉ねぎを入れて火が通るまで煮詰め、片栗粉を入れてとろみをつける。
- つみれの上にあんかけ、ネギをのせて完成!

#### ポイント

- ・ 枝豆を入れることによって、彩り、歯ごたえがよくなります。また、タンパク質が取れ、フレイル予防になります!
- ・ あんかけのとりみによって誤嚥を防ぐことができ、さらに、野菜も摂取できます!



### 沖ウルメのつみれの作り方 (あんかけとつみれ汁の両方に使う)

- ① カットした沖ウルメにすりおろしたしょうがと塩を少々入れ、粘りが出るまでフードプロセッサー（すり鉢でもよい）にかける。
- ② 沖ウルメの頭、内蔵、中骨を取り除き、一口大にする。



### 沖ウルメのつみれ汁

材料(2人分)

・沖ウルメ 2~3匹	・三つ葉：少々
・はんぺん 20g	・水 500g
・ねぎ 1/2本	・醤油 小さじ2
・人参：1/4本	・酒 小さじ1
・大根：100g	・塩 少々
・ごぼう：1/4本	・しょうが 少々

#### 作り方

- ① すり身に、はんぺんとネギを加えよくかき混ぜる。
- ② 人参、大根をいちょう切りにし、ごぼうをささがきにする。
- ③ 水を鍋に入れ、沸騰したら、人参、大根を入れ、火が通ったら、つみれを丸めて入れる。
- ④ つみれが浮き上がってきたら、ゴボウを加え、醤油、酒、塩を加える。
- ⑤ つみれ汁をお椀に入れ、上に三つ葉を盛り付ける。

#### ポイント

- ・ つみれに、はんぺんを加えることで、タンパク質の摂取ができ、フレイル予防になります!
- ・ 具材(人参、大根、ごぼう)を入れることで、食感が良く、野菜も取れます!



## 9. 卒業研究題目一覧

( ) : 氏名, 研究室名

1. 高知県産食材を使用した乳和食の開発と官能評価の多変量解析(1) (大谷歩紀 食品科学)
2. 高知県産食材を使用した乳和食の開発と官能評価の多変量解析(2) (武内真優 食品科学)
3. 過栄養状態がもたらすマスト細胞のアレルギー反応の変化 (是澤明里 食品科学)
4. 過栄養状態がもたらす株化肝細胞への脂肪の蓄積 (玉川真衣 食品科学)
5. 過栄養状態がもたらす株化骨格筋細胞への脂肪の蓄積 (中村朱里 食品科学)
6. 高脂肪高シヨ糖食投与マウスの脂肪組織における脂肪酸シターゼ (FAS) の変化とアシル化ステロール配糖体投与による FAS の影響 (前川希 食品科学)
7. 生姜プロテアーゼを利用した旨味成分の増量化の検討 (LUO HA0 食品科学)
8. 加熱調理の違いによるさやいんげんの葉酸について (池野美咲 調理学)
9. 加熱調理の違いによる鶏レバーのビタミン B12 について (室原実ノ里 調理学)
10. 真空調理におけるサバの味噌煮のビタミン B12 について (角 樹 調理学)
11. 健康志向弁当及び栄養指導における高齢者のフレイル対策の有効性について (田中くるみ 濱田侑李 濱野友里 横山緋南 臨床栄養学)
12. 食事画像解析による若年成人の食事摂取状況に関する研究  
～エネルギー産生栄養素と食習慣・生活習慣の関連について～ (中山栞 持丸快斗 公衆栄養学)
13. 食事画像解析による若年成人の食事摂取状況に関する研究  
～カルシウムの摂取状況について～ (浜田桃果 公衆栄養学)
14. 食事画像解析による若年成人の食事摂取状況に関する研究  
～欠食・中食と食事摂取状況の関連～ (池田結南 山本彩寧 公衆栄養学)
15. 卵白アレルギー L-PGDS による経口免疫寛容抑制作用機序について (松本あすか 栄養学)
16. PRMT4 によるヒト乳がん細胞 (MCF-7) の増殖能増強作用機序 (福島瑞葵 吉田奈緒子 栄養学)
17. インスタント食品 (ラーメン) の無機リン, 全リンの定量 (尾形優奈 尾上明里 栄養学)
18. 高知県産 BG 無洗米と精白米のカリウム含有量および洗米回数が及ぼす影響 (大下永愛 栄養学)
19. 大学生を対象としたコロナ禍の食環境に関する実態調査 (岡田柚菜 高田亜未 野村実央 病態学)
20. ヨウ素欠乏がみられるメコン川中洲の児童・生徒の食事摂取状況 (楠菜也 征矢野圭祐 長谷川和美 給食経営管理)
21. 大学内コンピューター室出入口床面における微生物汚染状況調査 (工藤みなみ 健康生態学)
22. キクイモ由来のイヌリン摂取(1日 2.4g)が生体に及ぼす効果 (川尻愛彩音 栄養教育論)
23. 玄米発酵食品摂取(1日 9g)が人体に与える効果 (川上璃花 栄養教育論)
24. 主食・主菜・副菜の摂取順番の違いと食後血糖値の関係 (小川晶世 栄養教育論)
25. 中学生の生活に関する調査及び望ましい朝食の摂取を目的とした栄養教育の実施とその評価 (奥田彩絵 西尾友理子 臨床栄養学)
26. 小学生の生活に関する調査及び望ましい朝食の摂取を目的とした栄養教育の実施とその評価 (後藤遥佳 中井晶帆 臨床栄養学)
27. 腸管内破骨細胞が炎症性腸疾患の重症化に及ぼす影響 ～モデルマウスの解析～ (石川日菜妥 一柳 咲希 臨床栄養学)

## 10. 学生の受賞

表彰名	学年	氏名	功績・賞の概要
学長賞 2022. 1. 26	4回生	イケあい地域災害学生ボランティアセンター 小川晶世, 武内真優, 長谷川和美, 前川 希, 松本あすか	『イケあい地域災害学生ボランティアセンター』の第9期幹部として、精力的に活動を継続し、後輩にバトンをつないだ。先輩の元で一連の活動の準備や実施を経験し、2回生として活動の中核を担った令和2年度からは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大に伴い社会活動が制限される中、ネット環境を駆使した活動に参加したり、度重なる参加予定行事の中止にもめげず、地域の防災イベントに何とか学生が応援参加できるよう幹部として企画書を作成し続け、後輩が参加・活躍できる場の獲得に尽力した。
(社)全国栄養士養成施設協会会長 2022. 3. 20	4回生	尾形優奈	栄養士課程および管理栄養士養成課程を優秀な成績で卒業する学生を対象に、社団法人全国栄養士養成施設協会が表彰した。

## 11. 学生の課外活動・イベントで特徴的な事項の一覧

実施日	活動・イベント名	担当教員	活動・イベントの概要
2022. 4. ～ 2023. 2	「健康志向食堂」での活動	渡邊浩幸, 島田郁子, 廣内智子	若年者雇用問題、学生の地域定着、既卒者のキャリア支援を目指す「健康志向食堂」での活動を利用する方法のひとつとして、6月から弁当を考案し販売を行った。



### Ⅲ. 教員の教育・研究・地域貢献活動

1. 村上 尚
2. 荒牧 礼子
3. 小林 淳
4. 渡邊 浩幸
5. 笠原 賀子
6. 島田 郁子
7. 鈴木 麻希子
8. 竹井 悠一郎
9. 西岡 道子
10. 廣内 智子
11. 小山 智久
12. 隅田 有公子
13. 竹本 和仁
14. 生川 卓弘
15. 彼末 富貴



# 学部長 教授 村上 尚 (MURAKAMI Takashi)

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・人体の構造と機能 II
- ・疾病論 I
- ・疾病論 II
- ・臨床医科学
- ・生体科学実験・実習
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・卒業研究
- ・管理栄養士国家試験対策講座

### 【大学院・人間生活学研究科 (博士前期課程)】

- ・臨床栄養学特論 (オムニバス)
- ・栄養・生活特論 I (オムニバス)

## II. 研究活動

### 【論文】

1. 隅田有公子, 高村泉紀, 新垣翼, 見津田貴道, 竹井悠一郎, 村上尚 (2015) 濃厚流動食の半固形化における物性の時間的変化について. 日本病態栄養学会誌 26(1), 103-112

### 【学会発表】

1. 廣内智子, 隅田有公子, 彼末富貴, 森本絢音, 小椋和佳奈, 坂本一美, 小谷小枝, 十萬敬子, 村上尚, 澁谷祐一. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会健康栄養連携部会の取り組み ―減塩生活のセルフケア支援―, 第 69 回日本栄養改善学会学術総会, 岡山 (2022. 9)
2. 森本絢音, 十萬敬子, 坂本一美, 小椋和佳奈, 小谷小枝, 廣内智子, 隅田有公子, 彼末富貴, 村上尚, 澁谷祐一. 高知医療センター・高知県立大学の包括的連携事業の取り組み, 第 42 回食事療法学会, オンライン (2023. 3)
3. Yukiko Sumida, Yuichiro Takei, Hiroyuki Watanabe, Takashi Murakami. The occurrence of gastroesophageal reflux differs depending on the type of thickener for the semi-solidified enteral nutrients. The 8th Asian Congress of Diabetics, Yokohama (2022. 8)
4. Tomohisa Koyama, Yuichiro Takei, Yukiko Sumida, Syunsuke Higaki, Michiko Nishioka, Takashi Murakami, Reiko Aramaki, Reiko Inai. The effect of sword bean (*Canavalia gladiata*) on postprandial blood glucose level. The 8th Asian Congress of Diabetics, Yokohama (2022. 8)
5. Tomoko Asai, Shunsuke Higaki, Yukiko Sumida, Tomohisa Koyama, Masaki Taga, Yuichiro Takei, Takashi Murakami, Reiko Inai. Effect of ingestion of powdered sword bean (*Canavalia gladiata*) on blood glucose levels in healthy young women. The 22nd International Congress of Nutrition, Tokyo (2022. 12)

### Ⅲ. 委員会活動

1. 健康栄養学部長
2. 高知県立大学教育研究審議会委員
3. 高知県立大学部局長会議構成員
4. 高知県立大学動物実験委員会委員長
5. 高知県立大学遺伝子組換え実験安全委員会委員長
6. 高知県立大学研究倫理委員会委員
7. 高知県立大学入学試験委員会委員
8. 高知県立大学自己点検・評価運営委員会委員
9. 高知県立大学学術研究戦略委員会委員
10. 大学教育改革委員会委員
11. 高知県立大学広報委員会委員
12. 高知医療センター・高知県立大学包括の連携協議会委員
13. 高知医療センター・高知県立大学包括の連携協議会健康栄養連携部会副部長
14. 高知医療センター・高知県立大学包括の連携協議会健康長寿・地域医療連携部会構成員
15. 高知県立大学健康栄養学研究倫理審査委員会委員長
16. 運営委員（学部）
17. 教務委員会委員（学部）
18. 国際交流ワーキング委員（学部）

### Ⅳ. 社会的活動

#### 【社会貢献活動】

1. 日本肥満学会評議員
2. 日本糖尿病学会会員
3. 日本生化学会会員
4. 日本分子生物学会会員



## I. 教育活動

### 【学部】

- ・公衆栄養学Ⅰ
- ・公衆栄養学Ⅱ
- ・地域公衆栄養学実習
- ・健康情報論実習
- ・地域公衆栄養学臨地実習
- ・地域実践栄養学臨地実習（共担）
- ・介護論（オムニバス）
- ・食と介護実習（オムニバス）
- ・管理栄養士総合演習Ⅰ（オムニバス）
- ・管理栄養士総合演習Ⅱ（オムニバス）
- ・生活技術援助Ⅳ（社会福祉学部）（オムニバス）
- ・卒業研究

### 【大学院・人間生活学研究科（博士前期課程）】

- ・栄養疫学論

## II. 研究活動

### 【学会発表】

1. Reiko Aramaki. Recognition of a “healthy diet” among young women. The 8th Asian Congress of Dietetics Yokohama Japan (Aug. 19-21, 2022)
2. 荒牧礼子. Instagramにおけるダイエット情報の科学的根拠に関する調査. 第29回日本未病学会学術総会 千葉浦安（令和4年11月13日）

### 【報告書】

1. 荒牧礼子（2022）高知県内の医療・健康・福祉専門職者のスキルアップに資する活動 高知県新任期行政栄養士研修報告書. p 150-153. 高知県立大学健康長寿センター, 高知

## III. 委員会活動

1. 健康長寿センター運営委員
2. 健康管理センター運営委員
3. キャリア支援運営委員
4. 入試監査委員
5. 臨地実習委員（学部）
6. 国際交流ワーキング委員

## IV. 社会的活動

### 【社会貢献活動】

1. 日本未病学会・評議員
2. 日本栄養・食糧学会会員
3. 日本公衆衛生学会会員
4. 日本栄養改善学会会員
5. 日本食育学会会員
6. 公益社団法人日本栄養士会会員
7. 公益社団法人高知県栄養士会会員
8. 土佐市とさっ子健診プロジェクトメンバー

9. 厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策保健所支援チーム（IHEAT）メンバー
10. 高知県食育連携推進協議会委員
11. 高知県公立学校教員採用候補者選考審査委員

**【講演・講習会】**

1. 高知県行政栄養士新任期研修会「地域診断-経年データのとり方、分析の仕方について」 講師 令和4年7月8日、高知県保健衛生総合庁舎
2. 高知市文化事業団セカンドライフ講座「免疫と食事」講師 令和4年11月26日 高知市江ノロコミュニティーセンター 高知市江ノロ地区公民館
3. 室戸健康大学 講演会「いつまでも元気！生活習慣病予防」講師 令和4年10月16日
4. 高知県行政栄養士新任期研修会「健康・栄養指標から地域の健康課題の抽出について」 講師 令和4年12月9日、高知県保健衛生総合庁舎
5. 高知県高坂学園生涯大学講座「免疫力と食事」講師 令和5年2月17日 高知市東部保健センター

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・生化学 I
- ・生化学 II
- ・公衆衛生学
- ・地域健康論
- ・地域医療論
- ・生化学実験
- ・環境衛生学実習
- ・生化学（看護学部）
- ・管理栄養士総合演習 II（オムニバス）

### 【大学院・人間生活学研究科（修士課程）】

- ・環境生態論

### 【大学院・健康生活科学研究科（博士後期課程）】

- ・環境生態学
- ・研究デザイン

### 【非常勤】

- ・戸板女子短期大学 食物栄養科 生化学実験

## II. 研究活動

### 【著書】

1. 内田明彦, 加藤雅彦, 小林 淳 他 (分担執筆) (2023) 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 5 巻 公衆衛生学/動物看護関連法規/動物愛護・適正飼養関連法規, 一般社団法人 日本動物保健看護系大学協会 カリキュラム委員会 編, 改訂第 2 版第 3 刷, p171-214 EDUWARD Press, 東京.

### 【論文】

1. 小林 淳, 松本晏奈, 藤田優香, 杉山英男. (2022) プロジェクターを活用する授業を想定した大気環境の調査, 四国公衛誌, **67**, 73-79.
2. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda. (2022) Types and characteristics of remote classes at a university during the COVID-19 pandemic, *Int J Sci Res Methodol*, **20**, 29-46.
3. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda. (2022) Differences in safety of tap water, well water and mineral water available in Japan, *Int J Pharmacy Pharm Res*, **23**, 167-176.
4. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda. (2022) Continued use of nano plastic products, *Int J Pharmacy Pharm Res*, **23**, 229-238.
5. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda. (2022) Are three meals a day sufficient?, *Int J Pharmacy Pharm Res*, **24**, 224-233.
6. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda. (2022) Overview of Japan's compliance with the framework convention on tobacco control, *Int J Sci Res Methodol*, **21**, 177-189.
7. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda. (2022) Excessive consumption of additives in processed foods, *J Curr Pharma Res*, **14**, 1-7.
8. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda. (2022) Possibility of insect feeding, *J Curr Pharma Res*, **14**, 114-123.
9. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda. (2022) Japanese user tolerance until the medicine effect occurs, *Int J Pharmacy Pharm Res*, **24**, 491-501.

10. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda. (2022) Individual efforts to comply with the sustainable development goals, *Int J Sci Res Methodol*, **21**, 75-84.
11. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda. (2022) Does prewashed rice have allow environmental impact?, *Int J Sci Res Methodol*, **22**, 59-65.
12. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda. (2022) Bias in reporting location of new coronavirus cluster outbreaks, *J Curr Pharma Res*, **15**, 1-10.

**【学会発表】**

1. 小林 淳, 矢野愛実, 杉山英男. 大学トイレ洗面台床における微生物汚染状況調査, 日本分析化学会第 71 年会, 岡山 (2022. 9) .
2. 池田啓一, 岩倉慶典, 新城智也, 川崎広明, 東 康彦, 小林 淳, 刀弥重信, 松本 孝, 山倉文幸. インドール環含有トリプトファン代謝物の生体内抗酸化物質としての可能性～スペクトル測定で見るペルオキシナイトライトとの反応性～, 第 23 回日本補完代替医療学会学術集会, Web 開催 (2022. 11-12) .
3. 中川颯人, 池田啓一, 岩倉慶典, 新城智也, 鳥谷部悠史, 川崎広明, 東 康彦, 小林 淳, 刀弥重信, 松本 孝, 山倉文幸. インドール環含有トリプトファン代謝物はペルオキシナイトライトに対する生体内抗酸化物質となり得るのか?～スペクトル測定からの検討～, 日本トリプトファン研究会第 41 回学術集会, 石川 (2022. 12) .
4. 鳥谷部悠史, 池田啓一, 岩倉慶典, 加藤優之介, 岡田秀朗, 中川颯人, 川崎広明, 小林 淳, 刀弥重信, 松本 孝, 山倉文幸. 活性窒素種によるトリプトファン代謝物のニトロ化と副反応を回避する前処理の検討, 日本トリプトファン研究会第 41 回学術集会, 石川 (2022. 12) .
5. 小林 淳, 矢野愛実, 杉山英男. トイレ洗面台床における微生物汚染状況調査, 日本薬学会第 143 年会, 北海道&オンライン (2023. 3) .

**Ⅲ. 委員会活動**

1. 学部入試実施委員会委員
2. 大学共通テスト実施委員会副委員長
3. 健康栄養学部入学資格審査部会委員
4. 健康栄養学部運営会議委員
5. 健康栄養学部研究倫理審査委員会委員
6. 健康栄養学部国際交流 WG 委員
7. 人間生活学研究科人権委員会委員

**Ⅳ. 社会的活動**

**【社会貢献活動】**

1. 令和 4 年度食品安全委員会食品安全モニター
2. 令和 4 年度高知市市民ウェブモニター

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・食品学
- ・食品学実験 I
- ・食品学実験 II
- ・食品衛生学
- ・食品衛生学実験
- ・食品の栄養素と機能
- ・食材学
- ・健康栄養学基礎 (オムニバス)
- ・管理栄養士総合演習 II
- ・卒業研究

### 【大学院・人間生活学研究科 (博士前期課程)】

- ・食品生化学特論 (食品科学論 I)
- ・食品製造学特論 (食品科学論 II)
- ・食物科学論
- ・食物科学実践演習

### 【大学院・健康生活科学研究科 (博士後期課程)】

- ・食品機能学

### 【非常勤】

- ・高知大学 海洋農林科学部・農学研究科 (IoP 関連)
- ・北見工業大学

### 【客員教授】

- ・高知大学

## II. 研究活動

### 【論文】

1. Eating behavior and environments of severe Alzheimer's disease patients with loss of language skills, Ketu Rie, Teruo Yokoi, Yayoi Miyoshi, Hiroyuki Watanabe, and Toshihide Fukuda, Gerontol Geriatr Med, 2022, Published online 2022 Jul 18. doi: 10.1177/23337214221113848
2. Inhibition of colorectal cancer cell proliferation by treatment with leaf extract of itadori, Kazuhito Takemoto, Luo Hao, Masaki Iji, Takahiro Narukawa, Tomohisa Koyama, Hiroyuki Watanabe, J Oleo Sci, 72(2), 199-209, 2023
3. Mamoru Tanaka, Ayaka Koida, Akira Miyazaki, Kazushi Tabata, Yuichiro Takei, Yoshihumi Tanimoto, Mami Kawamura, Masafumi Tsuzuki, Haruka Takahashi, Tetsu Yano, Hiroyuki Watanabe, Canna starch improves immune functions and the intestinal environment in mice, Biosci Microbiota Food Health, 42(2), 131-137, 2023

### 【学会発表】

1. 竹本和仁、生川卓弘、山田晋之、山根悠太、渡邊千尋、田甘霖、宮下かおり、渡邊浩幸, Hepa1-6株を用いた脂肪肝モデル系の確立とイタドリ抽出物が脂肪蓄積に与える影響, 第76回日本栄養・食糧学会, 神戸 (22.06.11)
2. 生川卓弘、田甘霖、竹本和仁、山田晋行、山根悠太、渡邊千尋、井治賢希、渡邊浩幸, 食用カンナ葉部の栄養化学的特性と脱顆粒抑制作用, 第76回日本栄養・食糧学会, 神戸 (22.06.11)
3. 竹井悠一郎、渡邊浩幸、竹本和仁、生川卓弘、鈴木麻希子, 高知県農産物の収穫予測と品質管理を可能にする非破壊簡易分析法の確立と野菜類の品質基準作成、マーケティングへの応用, 令和4年度IoPプロジェクト研究推進部会研究発表会, Web オンデマンド配信 (22.07.25~)

08.08) .

4. 竹本和仁, 生川卓弘, 山田晋之, 山根悠太, 渡邊千尋, 田甘霖, 宮下かおり, 渡邊治幸, Hepa1-6 株を用いた脂肪酸栄養源の違いによる影響の解析, 第 55 回日本栄養食糧学会支部大会, 松江 (22.10.29)
5. 生川卓弘, 田甘霖, 井治賢希, 小山智久, 竹本和仁, 渡邊浩幸, 食用カンナ葉部抽出物の脱顆粒 抑制作用における要因の検討, 第 55 回日本栄養食糧学会支部大会. 松江(22.10.29)
6. 田甘霖, 井治賢希, 生川卓弘, 小山智久, 竹本和仁, 渡邊浩幸, 野菜由来成分の抗アレルギー作用, 第 55 回日本栄養食糧学会支部大会. 松江 (22.10.29)
7. Kazuhito Takemoto, Hao Luo, Masaki Iji, Akari Koresawa, Ganlin Tian, Takahiro Narukwa, Takahiro Narukwa, Hiroyuki Watanabe, Establishment of a fatty liver model system using the Hepa 1-6 strain and the effects of extracts from plants with high polyphenol content on fat accumulation, 22nd IUNS-International Congress of Nutrition, Tokyo(22.12.06)
8. Hao Luo, Kazuhito Takemoto, Masaki Iji, Akari Koresawa, Ganlin Tian, Takahiro Narukwa, Takahiro Narukwa, Hiroyuki Watanabe, Effects of Itadori (*Fallopia Japonica*) leaf extract using ethanol on colorectal cancer cells, Tokyo(22.12.06)

### Ⅲ. 委員会活動

1. 地域連携部会
2. 産官学研究プロジェクト長
3. 立志社中運営委員会 (委員)
4. 学部運営委員 (学部)
5. 就職担当 (学部)

### Ⅳ. 社会的活動

#### 【社会貢献活動】

1. 社団法人日本栄養食糧学会代議員
3. 日本肥満学会会員
4. 日本未病システム学会会員
5. 日本食品保蔵科学会会員
6. 土佐フードビジネスクリエーター(FBC)人材創出 講義担当
7. 高知県事業診査アドバイザー (委員長)
8. こうち産業振興基金等事業審査員
9. 高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金審査会審査員
10. 越知町まち・ひと・しごと創生推進会議 (委員)
11. 高知県食の安全・安心推進審議会委員 (委員長)
12. 生産管理高度化情報共有会議委員
13. IoTプロジェクト研究推進部会 高付加価値化大課題リーダー
14. 高知県産学官民連携センター コプラコーディネーター
15. 安芸市立学校給食センター運営委員会アドバイザー

#### 【講演・講習会】

1. HACCP 管理者 HACCP 講座 (学内講習会)
2. 安芸シルバー短期大学 (安芸市社会福祉協議会)

3. IoP シンポジウム：農家と学ぶ勉強会 2 (IoP プロジェクト研究推進部会)
4. 土佐 F B C 人材創出事業 (食品機能学)

## V. 研究助成

### 【学外】

1. 内閣府：“I o P (Internet of Plants)” が導く「Next 次世代型施設園芸農業」への進化 (地方大学・地域産業創生交付金)
2. JST A-STEP トライアウト：食品中機能性成分の相乗効果を高感度に検出する生体中蓄積脂肪燃焼作用評価システムの構築
3. 受託研究費：ウシオ電機：食品成分の水分、タンパク質、脂質、灰分、炭水化物の定量

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・栄養教育論Ⅰ
- ・栄養教育論Ⅱ
- ・栄養教育論実習Ⅰ
- ・栄養教育論実習Ⅱ
- ・学校栄養指導論Ⅰ
- ・学校栄養指導論Ⅱ
- ・学校栄養教育実習
- ・教職実践演習

### 【非常勤】

- ・群馬大学 工学部 教養教育「キャリア教育」(オムニバス)
- ・新潟県立大学 人間生活学部 健康栄養学科 栄養教育実践論(オムニバス)
- ・北陸学園 北陸食育フードカレッジ 管理栄養士学科 特別講義

## II. 研究活動

### 【著書】

1. 栄養管理プロセス研究会監修、木戸康博・中村丁次・寺本房子編(202204)改訂新版 栄養管理プロセス、第一出版、東京(分担)
2. 芦川修貳監修、古畑公・田中弘之編(202204)、エスカパーシク 公衆栄養学概論 2022/2023、同文書院、東京(分担)
3. 笠原賀子・斎藤トシ子編(202208) 栄養科学シリーズ NEXT 栄養教育論第4版、p.1-205、講談社サイエンティフィク、東京

### 【論文】

1. 笠巻純一, 宮西邦夫, 笠原賀子, 松本裕史, 西田順一, 渋谷崇行, 丸田穂花(2022)男子学生の喫煙行動と喫煙に対する恩恵・負担の認識との関連. Health and Behavior Sciences 21(1) 39-50.
2. 笠巻純一, 宮西邦夫, 笠原賀子, 松本裕史, 西田順一, 渋谷崇行, 丸田穂花(2023)調理技術の自己評価の向上が女子学生の栄養素等摂取状況に及ぼす影響-1年間の縦断調査結果に基づく解析-. Health and Behavior Sciences 21(2)85-98

### 【学会発表】

1. 笠巻純一, 丸田穂花, 笠原賀子, 宮西邦夫, 松本裕史, 西田順一, 渋谷崇行. 調理技術の自己評価の向上が女子学生の栄養素等摂取状況に及ぼす影響 -1年間の縦断調査結果に基づく解析-, 日本調理科学会 2022 年度大会 (2022. 9. 02)
2. 丸田穂花, 笠巻純一, 笠原賀子, 宮西邦夫, 松本裕史, 西田順一, 渋谷崇行. 性・学年別にみた学生の調理技術の自己評価分析, 日本調理科学会 2022 年度大会 (2022. 9. 02)
3. 笠巻純一, 笠原賀子, 宮西邦夫, 松本裕史, 西田順一. 食習慣変容ステージ別にみた食行動・栄養素等摂取状況の変化-1年間の縦断研究から-, 第93回日本衛生学会 (2023. 3. 4)
4. 柳沼 梢, 津野香奈美, 吉益光一, 斎藤長徳, 笠原賀子, 龍田 希, 仲井邦彦. 管理栄養士・栄養士のワーク・エンゲイジメント, 第93回日本衛生学会 (2023. 3. 4)



## IV. 社会的活動

### 【社会貢献活動】

1. 群馬県教育委員会 栄養教諭制度推進連絡協議会会長
2. 日本栄養改善学会評議員
3. 日本栄養・食糧学会参与
4. 日本栄養学教育学会代議員
5. 日本臨床栄養協会評議員
6. 日本健康教育学会評議員
7. 日本公衆衛生学会会員
8. 日本学校保健学会会員
9. 日本栄養士会会員
10. 群馬県栄養士会会員
11. 日本コーチ協会会員
12. 日本動機づけ面接協会会員

### 【講演・講習会】

1. 長野県佐久保健所 令和4年度佐久地域管理栄養士・栄養士研修会 講師、2022年7月21日、9月16日、11月11日（オンライン）
2. 新潟県栄養士会会長岡支部 CKD・糖尿病性腎症重症化予防栄養指導事業スタッフ研修会 講師、2022年11月1日
3. 岩手県学校栄養士協議会 令和4年度岩手県栄養教諭・学校栄養職員研究大会 研究発表指導助言・講演講師、2022年11月22日
4. 長野県木曾保健福祉事務所 令和4年度木曾地域食育フォーラム 食育実践発表指導助言・講演講師、2023年2月22日（オンライン）

## V. 研究助成

### 【学外】

1. 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤C 令和2年度（継続）「学生の食生活改善を促す要因のシミュレーション解析による効果推計と支援的環境の検討」研究代表者：笠巻純一（新潟大学）（2020年4月 - 2024年3月）総額3,770千円

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・給食経営管理論
- ・給食計画論
- ・給食経営管理実習Ⅰ・Ⅱ
- ・給食経営管理臨地実習
- ・地域実践栄養学臨地実習
- ・管理栄養士総合演習Ⅰ
- ・管理栄養士総合演習Ⅱ
- ・卒業研究

### 【非常勤】

- ・食物学概論 高知大学教育学部
- ・愛媛大学 教育学部 子どもの食と栄養 (オムニバス)
- ・高知学園大学 災害と生活

## II. 研究活動

### 【著書】

1. 笠岡 (坪山) 宜代 (編者), 原田萌香, 濱田真里, 山下雅世, 深澤幸子, 島田郁子 (他全26名)  
「臨床栄養」別冊災害・緊急時の食と栄養 いますぐ知りたいアクションQ&A 医歯薬出版株式会社 令和5年3月発行. 第2章 8つのQ&A執筆 (16ページ分)と編集担当 (タスクフォース EtoA)
2. 栄養科学イラストレイテッド 臨床栄養学実習 羊土社 令和4年12月発行  
担当部分: P215 ~218 付録E 食中毒発生時および災害発生時に備えた対応について

### 【論文】

1. Haruka Kobayashi, Noriko Sudo, Nobuyo Tsuboyama-Kasaoka, Ikuko Shimada and Keiichi Sato  
Validity and reproducibility of food photographic estimation for evaluating meals in evacuation shelters. AIMS Public Health, 10(1): 169-182. DOI: 10.3934/publichealth.2023013 (2023.3)
2. Noriko Sudo, Nobuyo Tsuboyama-Kasaoka, Ikuko Shimada, Keiichi Sato and Akiko Kubo  
Attitudes toward using “Simple simulator for calculating nutritional food stocks in preparation for large-scale disasters” among local governmental personnel and public health dietitians in Japan: An explanatory mixed methods study. AIMS Public Health, 9 (4): 737-757. DOI: 10.3934/publichealth.2022051 (2022.11)  
<https://www.aimspress.com/article/doi/10.3934/publichealth.2022051>
3. Ikuko Shimada, Takashi Uemura. Today’s school lunch determines tomorrow’s cultural level in the country—Looking at the changing roles and issues in Japanese school lunch—  
Journal of Japanese Studies: Exploring Multidisciplinary 1(2) . 173-185 ISSN:2789-3014, eISSN:2791-0849 <http://doi.org/10.55156/jjsem.jul2209> (July 2022)
4. Ayana Hirano, Noriko Sudo, Nobuyo Tsuboyama-Kasaoka, Ikuko Shimada, Keiichi Sato, Yuki Shibamura and Sayaka Nagao-Sato. Usefulness of Simple Meal Screening Using Dietary Assessment Sheets for Evacuation Shelters. Journal of the American Nutrition Association <https://www.tandfonline.com/doi/full/10.1080/27697061.2022.2091680?scroll=top&needAccess=true> (2022.7)

## 【その他】

1. 島田郁子、笠岡（坪山） 宜代：連載 災害時の食と栄養 -助かった命をつなぐために- 連載3 回目 「避難所で元気に過ごすポイント」公益社団法人理容美容教育センター紀要 2023年1月号 23-27
2. 島田郁子：スペシャリストへの道：日本栄養士会雑誌第65巻2022年11月号
3. 低栄養レシピ集（高知県健康政策部保健政策課ホームページ）献立作成・栄養計算 2023年2月  
主菜が魚のレシピ（1）chrome-  
extension://efaidnbmnribpcajpcglclefindmkaj/https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/131601/files/2023011900105/file\_2023261103413\_1.pdf  
主菜が大豆製品のレシピ chrome-  
extension://efaidnbmnribpcajpcglclefindmkaj/https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/131601/files/2023011900105/file\_2023261103331\_1.pdf

## 【学会発表】

### (1) 国際学会発表

1. Ikuko Shimada, Kaori Aoki, Chikako Shimamura, Yuka Kumamoto, Maya Nishimura, Noriko Sudo, Nobuyo Tsuboyama Kasaoka, Keiichi Sato. Attempts to prepare food for disasters with consideration for nutrition and water conservation. 22nd International congress of Nutrition, Tokyo(2022.12)
2. Chie Tokuhiro Ikuko Shimada. Reducing Food waste: Changing Awareness and Behavior in Elementary School Students, Parents, and Teachers. 22nd International congress of Nutrition, Tokyo(2022.12)
3. Ikuko Shimada Noriko Sudo Nobuyo Kasaoka(Tsuboyama) Keiichi Sato. An attempt to develop boxed lunches that take into consideration the nutritional reference amount and diversity of food provision in evacuation centers. 第8回アジア栄養士会議 (ACD2022) (2022.8)
4. Hiroka Sato, Noriko Sudo, Ikuko Shimada, Tamaki Takeda and Nobuyo Kasaoka(Tsuboyama). Within- and Between-shelter Variations in Foods Provided at Shelters During a Heavy Rain Disaster and the Necessary Number of Days for Weighed Food Record. 第8回アジア栄養士会議 (ACD2022) (2022.8)
5. Ikuko Shimada Takashi Uemura. Current Status and Issues of Halal Food Products for Disaster Preparedness. International Conferences on Food & Agriculture Advanced Technology for Sustainable Development. (2022.11)

### (2) 国内学会発表

1. 上向井美佐、島田郁子、隅田有公子、村井正之：高アミロース極多収水稻系統を用いて作成したピラフの食味試験。日本育種学会四国談話会 第86回講演会 (2022.11)
2. 佐藤寛華、須藤紀子、武田環、島田郁子、笠岡（坪山） 宜代。「避難所における栄養の参照量」の改訂と活用ツール作成のためのグループインタビュー。第81回日本公衆衛生学会学術総会 山梨 (2022.10)

3. 水野怜香、須藤紀子、島田郁子、笠岡（坪山） 宜代：炊き出しにおける災害時要配慮者対応の可能性：炊き出し団体へのインタビュー. 第 81 回日本公衆衛生学会学術総会 山梨（2022. 10）
4. 島田郁子、廣内智子：学生企画によるぼうさいカフェ. 第 68 回（一社）日本家政学会中国・四国支部研究発表会（2022. 10）
5. 武田環、須藤紀子、島田郁子、笠岡（坪山） 宜代：「栄養に配慮した備蓄と災害発生後の食事シミュレーター」の作成. 第 69 回日本栄養改善学会学術総会（2022. 9）
6. 西村浩代、川村裕美、伊藤浩子、島田郁子. 新型コロナウイルス感染症 自宅療養者への食事提供からみた家庭内備蓄について. 第 10 回日本災害食学会 学術大会(2022. 8)

#### 【報告書】

1. 島田郁子（2023）災害支援体制づくりにむけて. 栄養土佐はちきん第 42 号. 高知県栄養士会

### Ⅲ. 委員会活動

1. 学生委員会
2. 災害プロジェクト委員
3. 国際交流 WG メンバー
4. 臨地実習委員会
5. 健康管理センター委員

### Ⅳ. 社会的活動

#### 【社会貢献活動】

1. 高知県栄養士会理事（研究教育事業部代表理事）
2. 土佐市社会福祉事業団理事
3. 土佐市立学校給食センター運営審議会委員
4. 高知市学校給食調理業務に係るプロポーザル選定委員会委員長
6. 安芸市学校給食運営委員

#### 【その他】

1. 日本家政学会 中国・四国支部 常任幹事・機関幹事

#### 【講演・講習会】

1. ‘Potential for local products in Kochi’ Food Technology Program  
Universitas Ciputra Surabaya（オンラインによる講義）2022 年 4 月 4 日
2. 令和 4 年度須崎福祉保健所管内健康づくり婦人会連合会研修会 講師 四万十町役場東庁舎  
2022 年 5 月 25 日
3. 令和 4 年度南国市保育所（園）調理部会研修 講師 南国市保健センター 2022 年 6 月 14 日
4. 進学説明会 模擬授業 講師 土佐女子高等学校 2022 年 6 月 15 日
5. 令和 4 年南海トラフ地震時栄養・食生活支援活動事例検討会 ケースメソッド講師  
オーテピア 2022 年 7 月 19 日
6. 高知県健康政策課部保健政策課 低栄養予防レシピ作成検討会 オンライン 高知県保健衛生総合  
庁舎 2022 年 5 月 31 日 8 月 2 日

7. 高知新聞主催 災害時にもおいしい離乳食 講師 住宅展示場 ライム 2022年9月24日
8. 高知新聞いのぐ記者 災害時食の力で乗り越えるには 講師 高知市東部健康福祉センター  
2022年9月25日
9. 高知県減災女子部 パッククッキング講習会 講師 ソーレ 2022年11月13日
10. 令和4年度 第67回高知県保育研究集会 第4分科会 ローリングストック in 保育園！災害を乗り越えよう オンライン 講師 2022年12月4日
11. 高知県南海トラフ対策課 防災士養成講座 講師 安芸市総合福祉センター 四万十市社会福祉センター 高知県立青少年センター 2022年10月22日、29日、11月26日、12月11日
12. 基本的診療機能実習 模擬患者役 高知大学医学部 2022年10月18日
13. 給食施設関係者研修会 講師 高知県高知青少年の家 2022年12月14日
14. 高知県隣保館連絡協議会研修会 住民の力で災害対応 今、やっておきたいことは 講師  
中土佐町人権啓発センター隣保館 2023年1月20日
15. 熊本県栄養士会 JDA-DAT スタッフ養成研修会 ハラル対応について 講師 熊本城 桜の馬場  
城彩苑 2023年2月11日
16. 高知県栄養士会 JDA-DAT リーダースキルアップ・スタッフ養成研修会 企画運営・講師  
高知医療センターくろしおホール 2023年3月26日

## V. 研究助成

### 【令和4年度 戦略的研究推進プロジェクト事業】

マイノリティや社会的弱者の健康・生活情報の把握・活用方法に関する研究-誰も取り残さない社会の実現を目指して-研究代表者 看護学部 木下真里 分担研究者 向井真紀子 島田郁子 河内康文 中井美喜子

### 【高銀地域経済振興財団】

健康と減災を目指した持続可能な食とくらしの探求 島田郁子 神原咲子

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・基礎栄養学
- ・応用栄養学 I
- ・応用栄養学 II
- ・ライフステージ栄養学
- ・基礎栄養学実験
- ・応用栄養学実習
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・卒業研究

### 【大学院・人間生活学研究科 (修士課程)】

- ・栄養・生活特論 I(オムニバス)
- ・栄養・生活特論 II(オムニバス)

### 【非常勤】

- ・高知大学 医学部
- ・高知開成専門学校 看護学科

## II. 研究活動

### 【論文】

1. 鈴木麻希子、沼田聡. 卵白アレルギーの高感度定量法への期待. 鶏の研究 2023;98(2): 38-42.
2. Satoshi Numata, Hao Luo, Makiko Suzuki. Preparation and application of monoclonal antibodies for an immune complex transfer enzyme immunoassay of an egg white allergen, lipocalin-type prostaglandin D synthase. J Nutr Sci Vitaminol, in press.

### 【学会発表】

1. Satoshi Numata, Chika Ishida, Ryohei Nagata, Misako Ihara, Kou Lau, Makiko Suzuki. Development of a highly sensitive enzyme immunoassay for the determination of L-PGDS in hens' egg white. The 8th Asian Congress of Dietetics, Japan (2020.8.19.)
2. 三宮章香, 下元智世, 鈴木麻希子. 給食管理実習における一枚ポートフォリオ導入が学修成果に及ぼす影響. 第69回日本栄養改善学会学術総会, 岡山 (2022.9.18.)

## III. 委員会活動

1. 紀要委員
2. 研究倫理審査委員
3. 人権委員
4. 学部入試監査委員
5. 学年担当 (2022年度入学生)

#### IV. 社会的活動

##### 【社会貢献活動】

1. 日本生化学会会員
2. 日本栄養・食糧学会会員
3. 日本栄養改善学会会員
4. 社団法人 日本栄養士会会員
5. 社団法人 高知県栄養士会会員
6. 社団法人 高知県栄養士会生涯教育委員

##### 【講演・講習会】

1. 労働者健康安全機構 高知産業保健総合支援センター主催 産業医学研修会 「日本食品標準成分表 2020 年版（八訂）と日本人の食事摂取基準 2020 年版の特徴からその活用の仕方を考える」  
2023 年 3 月 8 日

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・臨床栄養学 I
- ・臨床栄養学 II
- ・臨床栄養学 III
- ・臨床実践栄養学 (共担)
- ・介護論 (共担)
- ・卒業研究
- ・管理栄養士総合演習 I (共担)
- ・管理栄養士総合演習 II (共担)
- ・臨床栄養学臨地実習 I (共担)
- ・臨床栄養学臨地実習 II (共担)
- ・食と介護 (共担)
- ・栄養学 (看護学科)

### 【大学院・人間生活学研究科 (博士前期課程)】

- ・栄養・生活特論 I (共担)
- ・臨床栄養学特論 (共担)

### 【非常勤】

- ・高知情報ビジネス&フード専門学校 製菓製パン学科 食品学 (前期のみ)

## II. 研究活動

### 【論文】

1. Tanaka M, Koida A, Miyazaki A, Tabata K, Takei Y, Tanimoto Y, Kawamura M, Takahashi H, Yano T, Watanabe H (2023) Canna starch improves immune functions and the intestinal environment in mice. *Biosci Microbiota Food Health*. **42**(2):131-137.
2. 隅田有公子, 高村泉紀, 新垣翼, 見津田貴道, 竹井悠一郎, 村上尚 (2023) 濃厚流動食の半固形成における物性の時間的变化について. *日本病態栄養学会誌* **26**(1):103-112.
3. Yimamu Y, Ohtani A, Takei Y, Furuichi A, Kamei Y, Yamanaka-Okumura H, Ohminami H, Masuda M, Miyazaki M, Yamamoto H, Taketani Y (2022) 25-hydroxyvitamin D-1 $\alpha$ -hydroxylase (CYP27B1) induces ectopic calcification. *J Clin Biochem Nutr*. **71**(2):103-111.

### 【学会発表】

1. 竹井悠一郎 (日本栄養・食糧学会推薦) 骨外軟組織に発現する破骨細胞様細胞の臓器障害への関与 日本医学会連合 Rising Star リトリート, 兵庫 (2023. 3. 5)
2. Takei Y, Tanaka M, Sumida Y, Watanabe H. Auraptene, a citrus polyphenol attenuates an aortic aneurysm formation through the suppressing osteoclastogenesis in the artery, but not vascular calcification in Ca-P04-induced mouse model. 22nd IUNS-ICN Tokyo, Japan (2022. 12. 9)
3. Asai T T, Higaki S, Sumida Y, Koyama T, Taga M, Takei Y, Murakami T, Inai R. Effect of ingestion of powdered sword beans (*Canavalia gladiate*) on glycemia in healthy young women. 22nd IUNS-ICN Tokyo, Japan (2022. 12. 9)
4. Sumida Y, Higaki S, Takei Y, Inai R. The effect of inulin in a Jerusalem artichoke, helianthus tuberosus on postprandial blood glucose levels in healthy young women. 22nd IUNS-ICN Tokyo, Japan (2022. 12. 9)
5. Taga M, Higaki S, Sumida M, Koyama T, Asai T, Takei Y, Suda A, Inai R. Effect of one week of consumption of brown rice fermented food on postprandial blood glucose levels. 22nd



IUNS-ICN Tokyo, Japan (2022.12.9)

6. Suda A, Higaki S, Sumida Y, Koyama T, Asai T, Takei Y, Inai R, Matsuo T. Effect of intake order of staple food, main dish, and side dish on postprandial blood glucose level in healthy young individuals. 22nd IUNS-ICN Tokyo, Japan (2022.12.7)
7. Sumida Y, Takei Y, Watanabe H, Murakami T. The occurrence of gastroesophageal reflux differs depending on the type of thickener for the semi-solidified enteral nutrients. 8th ACD Yokohama, Japan (2022.8.20)
8. Koyama T, Takei Y, Sumida Y, Higaki S, Nishioka M, Murakami T, Aramaki R, Inai R. The Effect of sword bean (*Canavalia gladiata*) on postprandial blood glucose level. 8th ACD Yokohama, Japan (2022.8.19)
9. 檜垣俊介、隅田有公子、竹井悠一郎、稲井玲子. 主食・主菜・副菜の摂取順番の違いと食後血糖値の関係 日本食育学術会議第16回大会, 愛媛 (2022.6.25)

#### 【報告書】

1. 竹井悠一郎, 隅田有公子, 福井康雄, 稲田涼 (2023) 炎症性腸疾患の新規治療法確立を目指した基礎的研究. 戦略的研究推進プロジェクト成果報告

### III. 委員会活動

1. 共通教育専門委員
2. 国際交流センター員
3. 遺伝子組換え実験安全委員
4. 動物実験委員
5. 学部教務委員
6. 学部国際交流WG構成員
7. 臨地実習委員
8. 人間生活学研究科委員
9. 人間生活学研究科博士前期課程教務委員
10. 人間生活学研究科博士前期課程学務委員
11. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会健康栄養連携部会員

### IV. 社会的活動

#### 【社会貢献活動】

1. 日本栄養改善学会正会員 (評議員)
2. 日本栄養・食糧学会正会員 (参与)
3. 日本ビタミン学会正会員
4. 日本骨代謝学会正会員
5. 日本歯科基礎医学会正会員
6. フードサイエンスフォーラム正会員
7. 日本食育学術会議正会員
8. 米国心臓学会正会員
9. 日本栄養士会会員
10. 高知県栄養士会会員
11. IoPプロジェクト研究推進部会員
12. 高知県アルコール健康障害対策連絡協議会委員

#### 【講演・講習会】

1. 令和4年度IoP塾(前期)オンライン講座 講師 2022年5月18日

2. 令和4年度こどもへの健康教育（安芸市立安芸第一小学校） 講師 2022年6月5日
3. 本山町・本山町老人クラブ連合会・高知県立大学公開講座「夜學2022」（お昼の特別講座）  
講師 2022年7月20日
4. 高知県立大学ウェブオープンキャンパス2020 模擬授業 講師 2022年7月23日
5. 高知県栄養士会生涯教育実務研修会 運営スタッフ 2022年7月7日 24日
6. 令和4年度「全世代に広げよう健康寿命延伸プロジェクト（第2弾）」説明会 講師  
2022年8月4日
7. 第69回日本栄養改善学会学術集会 生理・生化学1（口演） 座長 2022年9月17日
8. 第69回日本栄養改善学会学術集会 支部間交流ひろば 演者（四国支部担当）  
2022年9月18日
9. 令和4年度こどもへの健康教育（土佐清水市立清水中学校） 講師 2022年9月22日
10. 令和4年度こどもへの健康教育（四万十町立窪川小学校） 講師 2022年10月25日
11. 令和4年度こどもへの健康教育（南国市立岡豊小学校） 講師 2022年11月1日
12. 令和4年度こどもへの健康教育（いの町立枝川小学校） 講師 2023年1月23日

#### 【その他】

1. 医療法人社団湧泉会 ひまわり歯科 研究倫理委員会 外部委員
2. 第37回国試対策 管理栄養士国家試験 全国統一模擬試験 かんもし 作問者
3. Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry 査読者
4. Current Gene Therapy 査読者
5. 学生サークル『叢雲』 顧問
6. 高知県立大学大学院紹介動画 説明者
7. 高知県立大学健康栄養学部 365日オープンキャンパス 担当者（2022年12月18日分）

## IV. 研究助成

### 【学外】

1. 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤C 令和3年度（継続） 「破骨細胞様細胞を標的とした炎症性腸疾患の新規栄養療法の開発」 研究代表者 1,000千円（令和4年度分）
2. 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤C 令和3年度（継続） 「経腸栄養剤の粘性付加に関する検討」 研究分担者 100千円（令和4年度分）
3. 高知新聞・高知放送 生命（いのち）の基金 2021年度研究助成（延長） 研究代表者  
900千円（令和4年度分）

### 【学内】

1. 令和3年度高知県立大学 戦略的研究推進プロジェクト（テーマ2）（継続） 「人における食品機能性成分摂取による免疫、体内時計指標、血糖上昇抑制に及ぼす影響」 研究代表者 995,200円（令和4年度分）

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・調理学
- ・調理学実習 I
- ・調理学実習 II
- ・調理学実習 III
- ・調理科学実験
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・卒業研究

## II. 研究活動

### 【学会発表】

T. Koyama, Y. Takei, Y. Sumida, S. Higaki, M. Nishioka, T. Murakami, R. Aramaki, R. Inai.  
The Effect of Sword Bean (*Canavalia gladiata*) on Postprandial Blood Glucose Level. The 8th  
Asian Congress of Dietetics, Yokohama (2022. 8. 19)

## III. 委員会活動

1. 教務委員
2. 学部教務委員会
3. 研究倫理審査専門委員会委員

## IV. 社会的活動

### 【社会貢献活動】

1. 日本栄養・食糧学会会員
2. 日本ビタミン学会会員
3. 日本栄養改善学会会員

### 【講演・講習会】

1. 高知県調理師試験準備講習会「栄養学」講師 2022年9月22日

## V. 研究助成

### 【学内】

令和3年度高知県立大学戦略的研究推進プロジェクト：人における食品機能性成分摂取による免疫、体内時計指標、血糖上昇抑制に及ぼす影響 共同研究者

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・臨床栄養学実習 I
- ・臨床栄養学実習 II
- ・臨床栄養学臨地実習 I
- ・臨床栄養学臨地実習 II
- ・臨床実践栄養学
- ・地域実践栄養学臨地実習
- ・管理栄養士総合演習 I (オムニバス)
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・土佐の食と健康 (共通教養教育)
- ・専門職連携概論 (共通教養教育)
- ・健康栄養フィールドワーク
- ・卒業研究

## II. 研究活動

### 【学会発表】

1. 廣内智子, 難波江由香, 星川友美, 白木春乃, 中尾理紗: 災害時における備蓄食品を活用した治療食の検討. 2022 年度日本災害食学会学術大会, オンライン, 2022
2. 廣内智子, 隅田有公子, 彼末富貴, 森本絢音, 小椋和佳奈, 坂本一美, 小谷小枝, 十萬敬子, 村上尚, 澁谷祐一: 包括的連携協議会健康栄養連携部会の取り組み (減塩生活のセルフケア支援), 第 69 回日本栄養改善学会学術総会, オンライン, 2022
3. 森本絢音, 坂本一美, 小椋和佳奈, 廣内智子, 隅田有公子, 彼末富貴, 十萬敬子, 小谷小枝, 澁谷祐一, 村上尚: 高知医療センター栄養局・高知県立大学健康栄養学部の包括的連携事業の取り組み, 第 42 回食事療法学会, オンライン, 2023
4. Shimada, C. Tokuhiko, S. Numata, T. Hirouchi, K. Watanabe, and T. Okamoto: Survival cooking as disaster education For students and local residents, International Conference on Teaching, Education & Learning, 16-17 February, 2020 Dubai
5. T. Hirouchi, Y. Nabae, R. Nakao, T. Hoshikawa, H. Shiraki, Utilizing stockpiled foods for Preparing Therapeutic Foods in Disasters, The 8<sup>th</sup> Asian Congress of Dietetics (ACD2022)
6. T. Hirouchi, Y. Nabae, R. Nakao, T. Hoshikawa, H. Shiraki, Utilizing stockpiled foods for Preparing Therapeutic Foods in Disasters, The 22<sup>nd</sup> international Congress of Nutrition (22nd IUNS-ICN)

### 【報告書】

1. 災害時における要配慮者の栄養支援とその課題 危機管理レビュー, 14, P45-54, 2023

## III. 委員会活動

1. FD 委員
2. 防災プロジェクト委員
3. 入退院支援事業委員
4. 訪問看護師育成講座委員
5. 国家試験対策委員
6. 臨地実習委員

7. 学年担任 (2019 年度入学生)
8. 近森病院見学担当 (令和 4 年度はコロナ禍により未実施)
9. 令和 5 年度新入生向けの新オリ動画作成スタッフ

#### IV. 社会的活動

##### 【社会貢献活動】

1. 社団法人 日本栄養士会会員
2. 社団法人 高知県栄養士会会員
3. 日本災害食学会会員
4. 日本臨床栄養学会会員
5. 日本臨床栄養代謝学会会員
6. 日本病態栄養学会会員
7. 日本咀嚼学会会員
8. 日本栄養改善学会会員
9. 高知県栄養士会 はちきん編集委員
10. 高知模擬患者 (SP) 研究会スタッフ

##### 【講演・講習会】

1. 第 39 回本山町・本山町老人クラブ連合会・高知県立大学公開講座 「夜學」2022 「知ってびっくり！意外に知らない土佐の食材にまつわる雑学」2022 年 6 月 13 日
2. 令和 4 年度高知県特別支援学校給食研究協議会調理職員等研修会「災害時における栄養・食生活支援について」2022 年 8 月 1 日
3. 令和 4 年度介護労働講習「介護職に求められる栄養ケア」2022 年 9 月 21 日
4. JDA-DAT 滋賀スタッフ養成／フォローアップ研修会「栄養アセスメントとともに学ぶ被災地でのコミュニケーションスキル」2022 年 9 月 24 日
5. 室戸高等学校出前講座「巨大地震に備え今すべき食料備蓄」2022 年 10 月 12 日
6. 訪問看護スタートアップ研修「栄養アセスメントと食事の支援」2022 年 7 月 6 日、12 月 14 日
7. 多職種協働研修第 3 回「今、どうして多職種協働が必要なのか？」2022 年 11 月 7 日
8. 多職種協働研修第 5 回「リアルカンファレンス」ファシリテータ 2022 年 12 月 13 日
9. 包括連携・健康栄養学部 FD 研修会「合同災害訓練の振り返り」2022 年 12 月 12 日
10. 高知学園大学における実習 (模擬患者役) 2023 年 3 月 10 日
11. 全学 FD 研修会「パフォーマンス課題におけるルーブリックの実践例紹介」2023 年 3 月 7 日
12. 英明高等学校大学見学 (健康栄養学部紹介) 2023 年 3 月 22 日

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・健康栄養学基礎 (オムニバス)
- ・栄養教育論Ⅰ (一部補助)
- ・栄養教育論Ⅱ (一部補助)
- ・栄養教育論Ⅲ (一部補助)
- ・栄養教育論実習Ⅰ (補助)
- ・栄養教育論実習Ⅱ (補助)
- ・学校栄養教育実習 (補助)
- ・教職実践演習 (一部補助)
- ・給食経営管理実習Ⅰ (補助)
- ・給食経営管理実習Ⅱ (補助)
- ・管理栄養士総合演習Ⅰ (補助)
- ・給食経営管理臨地実習 (補助)

### 【非常勤】

- ・RKC 調理製菓専門学校 製菓衛生師科

## II. 研究活動

### 【論文】

1. Inhibition of colorectal cancer cell proliferation by treatment with leaf extract of itadori, Kazuhito Takemoto, Luo Hao, Masaki Iji, Takahiro Narukawa, Tomohisa Koyama, Hiroyuki Watanabe, J Oleo Sci, 72(2), 199-209, 2023

### 【学会発表】

1. Tomohisa Koyama, Yuichiro Takei, Yukiko Sumida, Shunsuke Higaki, Michiko Nishioka, Takashi Murakami, Reiko Aramaki, Reiko Inai, The Effect of sword bean (*Canavalia gladiata*) on postprandial blood glucose level, The 8th Asian Congress of Dietetics, Yokohama (22. 8. 19)
2. 竹本和仁、生川卓弘、小山智久、田甘霖、井治賢希、渡邊治幸, Hepa1-6 株を用いた脂肪酸栄養源の違いによる影響の解析, 第 55 回日本栄養食糧学会支部大会. 松江 (22. 10. 29)
3. 生川卓弘、田甘霖、井治賢希、小山智久、竹本和仁、渡邊浩幸, 食用カンナ葉部抽出物の脱顆粒抑制作用における要因の検討, 第 55 回日本栄養食糧学会支部大会. 松江 (22. 10. 29)
4. 田甘霖、井治賢希、生川卓弘、小山智久、竹本和仁、渡邊浩幸, 野菜由来成分の抗アレルギー作用, 第 55 回日本栄養食糧学会支部大会. 松江 (22. 10. 29)
5. Kazuhito Takemoto, Hao Luo, Masaki Iji, Akari Koresawa, Ganlin Tian, Takahiro Narukawa, Tomohisa Koyama, Hiroyuki Watanabe, Establishment of a fatty liver model system using the Hepa 1-6 strain and the effects of extracts from plants with high polyphenol content on fat accumulation, 22nd IUNS-International Congress of Nutrition, Tokyo (22. 12. 06)
6. Hao Luo, Kazuhito Takemoto, Masaki Iji, Akari Koresawa, Ganlin Tian, Takahiro Narukawa, Tomohisa Koyama, Hiroyuki Watanabe, Effects of Itadori (*Fallopia Japonica*) leaf extract using ethanol on colorectal cancer cells, 22nd IUNS-International Congress of Nutrition, Tokyo (22. 12. 06)
7. Tomoko Asai, Shunsuke Higaki, Yukiko Sumida, Tomohisa Koyama, Masaki Taga, Yuichiro Takei, Takashi Murakami, Reiko Inai, Effect of ingestion of powdered sword bean (*Canavalia gladiata*) on blood glucose levels in healthy young women, 22nd IUNS-International Congress of Nutrition, Tokyo (22. 12. 06)

8. Ayumi Suda, Shunsuke Higaki, Yukiko Sumida, Tomohisa Koyama, Tomoko Asai, Yuichiro Takei, Reiko Inai, Tatsuhiro Matsuo, Effect of intake order of staple food, main dish, and side dish on postprandial blood glucose level in healthy young individuals, 22nd IUNS-International Congress of Nutrition, Tokyo(22.12.06)
9. Masaki Taga, Shunsuke Higaki, Yukiko Sumida, Tomohisa Koyama, Tomoko Asai, Yuichiro Takei, Ayumi Suda, Reiko Inai, Effect of one week of consumption of brown rice fermented food on postprandial blood glucose levels, 22nd IUNS-International Congress of Nutrition, Tokyo(22.12.06)

### Ⅲ. 委員会活動

1. 臨地実習委員会 (学部)
2. 学部入試実施委員会 (学部)
3. 学年副担当 (2022 年度入学生)

### Ⅳ. 社会的活動

#### 【社会貢献活動】

1. 公益社団法人日本栄養士会会員
2. 公益社団法人高知県栄養士会会員
3. 公益社団法人日本薬学会会員
4. 公益社団法人日本栄養食糧学会会員

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・臨床栄養学実習 I (補助)
- ・臨床栄養学実習 II (補助)
- ・食と介護 (実習) (補助)
- ・基礎栄養学実験 (補助)
- ・管理栄養士総合演習 I (補助)
- ・臨床栄養学臨地実習 I (補助)
- ・臨床栄養学臨地実習 II (補助)
- ・臨床実践栄養学 (一部補助)
- ・栄養と健康 (共通教養)

### 【非常勤】

- ・学校法人龍馬学園 高知情報ビジネス&フード専門学校 RKC 製菓衛生師養成課程 食品学

## II. 研究活動

### 【論文】

1. 隅田有公子、高村泉紀、新垣翼、見津田貴道、竹井悠一郎、村上尚. 濃厚流動食の半固形化における物性の時間的変化について, 日本病態栄養学会誌, 26(1):103-112, 2023
2. Jun Kobayashi, Yukiko Sumida, Keiichi Ikeda. Alternative Functions of Amino Acids and Their Effects on Human Physiology, INTERNATIONAL JOURNAL OF PHARMACY & PHARMACEUTICAL RESEARCH, 25(1):184-191, 2022
3. Jun Kobayashi, Yukiko Sumida, Keiichi Ikeda. Can The Reaction That Makes Food Delicious Be Harmful? INTERNATIONAL JOURNAL OF PHARMACY & PHARMACEUTICAL RESEARCH, 25(1):212-220, 2022

### 【学会発表】

1. Yukiko Sumida, Yuichiro Takei, Hiroyuki Watanabe, Takashi Murakami. The occurrence of gastroesophageal reflux differs depending on the type of thickener for the semi-solidified enteral nutrients., The 8th Asian Congress of Dietetics, 横浜 (2022.8.20)
2. Tomohisa Koyama, Yuichiro Takei, Yukiko Sumida, Syunsuke Higaki, Michiko Nishioka, Takashi Murakami, Reiko Aramaki, Reiko Inai. The Effect of sword bean (*Canavalia gladiata*) on postprandial blood glucose level., The 8th Asian Congress of Dietetics, 横浜 (2022.8.19)
3. 廣内智子、隅田有公子、彼末富貴、森本絢音、小椋和佳奈、坂本一美、小谷小枝、十萬敬子、村上尚、澁谷祐一. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会健康栄養連携部会の取り組み (減塩生活のセルフケア支援), 第69回日本栄養改善学会学術総会, 岡山 (2022.9.18)
4. 上向井美佐、島田郁子、隅田有公子、村井正之. 高アミロース極多収水稻系統を用いて作成したピラフの食味試験, 第86回日本育種学会四国談話会, 高知 (2022.11.25)
5. Yuichiro Takei, Mamoru Tanaka, Yukiko Sumida, Hiroyuki Watanabe. Auraptene, a citrus polyphenol attenuates an aortic aneurysm formation through the suppressing osteoclastogenesis in the artery, but not vascular calcification in the artery in Ca-P04-induced mouse model., 22nd IUNS-ICN, 東京 (2022.12.11)



6. Yukiko Sumida, Shunsuke Higaki, Yuichiro Takei, Reiko Inai. The effect of inulin in a Jerusalem artichoke, *helianthus tuberosus* on postprandial blood glucose levels in healthy young women., 22nd IUNS-ICN, 東京 (2022.12.11)
7. Masaki Taga, Shunsuke Higaki, Yukiko Sumida, Tomoko Asai, Yuichiro Takei, Ayumi Suda, Reiko Inai. Effect of one week of consumption of brown rice fermented food on postprandial blood glucose levels., 22nd IUNS-ICN, 東京 (2022.12.11)
8. Tomoko T. Asai, Shunsuke Higaki, Yukiko Sumida, Tomohisa Koyama, Masaki Taga, Yuichiro Takei, Takashi Murakami, Reiko Inai. Effect of ingestion of powdered sword bean (*Canavalia gladiata*) on blood glucose levels in healthy young women., 22nd IUNS-ICN, 東京 (2022.12.11)
9. Ayumi Suda, Shunsuke Higaki, Yukiko Sumida, Tomohisa Koyama, Tomoko Asai, Yuichiro Takei, Reiko Inai, Tatsuhiro Matsuo. Effect of intake order of staple food, main dish, and side dish on postprandial blood glucose level in healthy young individuals., 22nd IUNS-ICN, 東京 (2022.12.11)
10. 森本絢音、坂本一美、小椋和佳奈、廣内智子、隅田有公子、彼末富貴、十萬敬子、小谷小枝、澁谷祐一、村上尚. 高知医療センター栄養局・高知県立大学健康栄養学部の包括的連携事業の取り組み, 第42回食事療法学会, オンライン (2023.3.13)

### Ⅲ. 委員会活動

1. 図書館委員
2. 土佐市地域ケア会議推進プロジェクト委員
3. 糖尿病保健指導連携体制構築事業委員
4. 親交会委員
5. 臨地実習委員 (学部)
6. 生協委員 (学部)
7. 学年副担当 (2021年度入学生)

### Ⅳ. 社会的活動

#### 【社会貢献活動】

1. 公益社団法人 日本栄養士会会員
2. 公益社団法人 高知県栄養士会会員
3. 日本栄養改善学会会員
4. 日本病態栄養学会会員
5. 日本臨床栄養代謝学会会員
6. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会会員
7. 日本未病学会会員

#### 【講演・講習会】

1. 高校生のための公開講座「第2回県大立志塾2022」 講師、2022年9月11日

## V. 研究助成

### 【学外】

1. 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤C 令和3年度 「経腸栄養剤の粘性付加に関する検討」 研究代表者
2. 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤C 令和3年度 「破骨細胞様細胞を標的とした炎症性腸疾患の新規栄養療法の開発」 研究分担者
3. 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤C 令和4年度 「慢性閉塞性肺疾患患者の再入院予防の地域病院多職種協働型入退院支援ガイドライン開発」 研究分担者
4. 高知新聞・高知放送 生命（いのち）の基金 2021年度研究助成 「破骨細胞様細胞を標的とした潰瘍性大腸炎患者の重症化に関連する腸内細菌および代謝産物の網羅的解析」 研究分担者

### 【学内】

1. 令和3年度高知県立大学 戦略的研究推進プロジェクト（テーマ2） 「人における食品機能性成分摂取による免疫、体内時計指標、血糖上昇抑制に及ぼす影響」 研究分担者

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・健康栄養学基礎 (オムニバス)
- ・地域学実習 I
- ・生化学実験 (補助)
- ・食品学実験 I (補助)
- ・食品学実験 II (補助)
- ・食品衛生学実験 (補助)
- ・運動生理学 (補助)

### 【非常勤】

- ・RKC 調理製菓専門学校

## II. 研究活動

### 【論文】

1. Kazuhito Takemoto, Luo Hao, Masaki Iji, Takahiro Narukawa, Tomohisa Koyama, Hiroyuki Watanabe. (2023) Inhibition of Colorectal Cancer Cell Proliferation by Treatment with Itadori Leaf Extract. Journal of oleo science 72(2), 199-209.

### 【学会発表】

1. Establishment of a fatty liver model system using the Hepa 1-6 strain and the effects of extracts from plants with high polyphenol content on fat accumulation, Kazuhito Takemoto, Hao Luo, Masaki Iji, Akari Koresawa, Ganlin Tian, Takahiro Narukawa, Hiroyuki Watanabe, 22nd IUNS-International Congress of Nutrition, 2022.12
2. Hao Luo, Kazuhito Takemoto, Masaki Iji, Akari Koresawa, Ganlin Tian, Takahiro Narukawa, Takahiro Narukawa, Hiroyuki Watanabe. Effects of Itadori (Fallopia Japonica) leaf extract using ethanol on colorectal cancer cells, 22nd IUNS-International Congress of Nutrition, Tokyo. December 6, 2022
3. 田甘霖、井治賢希、生川卓弘、小山智久、竹本和仁、渡邊治幸、野菜由来成分の抗アレルギー作用, 第 55 回 日本栄養食糧学会 中四国支部会, 島根. 2022 年 10 月 29 日
4. 竹本和仁、生川卓弘、小山智久、田甘霖、井治賢希、渡邊治幸. Hepa1-6 株を用いた脂肪酸栄養源の違いによる影響の解析, 第 55 回 日本栄養食糧学会 中四国支部会, 島根. 2022 年 10 月 29 日
5. 竹井悠一郎、渡邊治幸、竹本和仁、生川卓弘、鈴木麻希子. 高知県農産物の収穫予測と品質管理を可能にする非破壊簡易分析法の確立と野菜類の品質基準作成、マーケティングへの応用, 令和 4 年度 IoP プロジェクト研究推進部会研究発表会, 高知: オンデマンド. 2022 年 7 月 25 日
6. 竹本和仁、生川卓弘、山田晋之、山根悠太、渡邊千尋、田甘霖、宮下かおり、渡邊治幸. Hepa1-6 株を用いた脂肪肝モデル系の確立とイタドリ抽出物が脂肪蓄積に与える影響, 第 76 回日本栄養・食糧学会, 兵庫. 2021 年 6 月 10 日

### Ⅲ. 委員会活動

1. 情報処理部会委員
2. 管理栄養士国家試験対策委員

### Ⅳ. 社会的活動

#### 【社会貢献活動】

1. 日本栄養・食糧学会会員
2. 若手栄養学研究者の集い会員
3. 日本食品科学工学会会員
4. 社団法人日本農芸化学会会員
5. 日本肥満学会会員
6. 日本食品保蔵学会会員
7. 高知県産学官民連携コーディネーター

#### 【講演会講習会】

1. 安芸高校出前講座（高大連携）「食物アレルギー～一生食べられないの？～」2022年10月20日

### Ⅴ. 研究助成

#### 【学外】

1. 公益信託高知新聞・高知放送：2022年度「生命(いのち)の基金」50万円
2. 一般財団法人高銀地域経済振興財団助成：「高知県産イタドリ葉の食物アレルギー症状緩和による高付加価値化」20万円

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・地域公衆栄養学実習
- ・応用栄養学実習
- ・環境衛生学実習
- ・管理栄養士総合演習 I
- ・地域公衆栄養学臨地実習
- ・健康情報論実習
- ・地域学実習 I

### 【非常勤】

- ・高知情報ビジネス&フード専門学校 製菓製パン学科 栄養学

## II. 研究活動

### 【論文】

1. Soy protein intake increased bone mineral density under non-energy deficiency conditions but decreased it under energy deficiency conditions in young female rats, Kazuki Kioka, Yuki Aikawa, Yusuke Wakasugi, Takahiro Narukwa, Tomoya Fukuyasu, Makoto Ohtsuki, Takenori Yamashita, Nobuaki Sasai, Naomi Omi, Nutr Res, 106, 1-11, 2022
2. Inhibition of colorectal cancer cell proliferation by treatment with leaf extract of itadori, Kazuhito Takemoto, Luo Hao, Masaki Iji, Takahiro Narukawa, Tomohisa Koyama, Hiroyuki Watanabe, J Oleo Sci, 72(2), 199-209, 2023

### 【学会発表】

1. 竹本和仁、生川卓弘、山田晋之、山根悠太、渡邊千尋、田甘霖、宮下かおり、渡邊浩幸, Hepa1-6株を用いた脂肪肝モデル系の確立とイタドリ抽出物が脂肪蓄積に与える影響, 第76回日本栄養・食糧学会, 神戸 (22.06.11)
2. 生川卓弘、田甘霖、竹本和仁、山田晋行、山根悠太、渡邊千尋、井治賢希、渡邊浩幸, 食用カンナ葉部の栄養化学的特性と脱顆粒抑制作用, 第76回日本栄養・食糧学会, 神戸 (22.06.11)
3. 竹井悠一郎、渡邊浩幸、竹本和仁、生川卓弘、鈴木麻希子, 高知県農産物の収穫予測と品質管理を可能にする非破壊簡易分析法の確立と野菜類の品質基準作成、マーケティングへの応用, 令和4年度IoPプロジェクト研究推進部会研究発表会, Web オンデマンド配信 (22.07.25~08.08)
4. 竹本和仁、生川卓弘、山田晋之、山根悠太、渡邊千尋、田甘霖、宮下かおり、渡邊浩幸, Hepa1-6株を用いた脂肪酸栄養源の違いによる影響の解析, 第55回日本栄養食糧学会支部大会, 松江 (22.10.29)
5. 生川卓弘、田甘霖、井治賢希、小山智久、竹本和仁、渡邊浩幸, 食用カンナ葉部抽出物の脱顆粒抑制作用における要因の検討, 第55回日本栄養食糧学会支部大会, 松江 (22.10.29)
6. 田甘霖, 井治賢希, 生川卓弘, 小山智久, 竹本和仁, 渡邊浩幸, 野菜由来成分の抗アレルギー作用, 第55回日本栄養食糧学会支部大会, 松江 (22.10.29)
7. Kazuhito Takemoto, Hao Luo, Masaki Iji, Akari Koresawa, Ganlin Tian, Takahiro Narukwa, Hiroyuki Watanabe, Establishment of a fatty liver model system using the Hepa 1-6 strain and the effects of extracts from plants with high polyphenol content on fat accumulation, 22nd IUNS-International Congress of Nutrition, Tokyo(22.12.06)

8. Hao Luo、Kazuhito Takemoto、Masaki Iji、Akari Koresawa、Ganlin Tian、Takahiro Narukwa、Hiroyuki Watanabe, Effects of Itadori (Fallopia Japonica) leaf extract using ethanol on colorectal cancer cells, 22nd IUNS-International Congress of Nutrition, Tokyo(22.12.06)
9. Yuki Aikawa、Yusuke Wakasugi、Takahiro Narukwa、Kazuki Kioka、Takenori Yamashita、Naomi Omi、Makoto Ohtsuki, Effects of different energy restriction levels on bone in young female rats, 22nd IUNS-International Congress of Nutrition, Tokyo(22.12.06)

### Ⅲ. 委員会活動

1. 学部入試実施委員
2. 臨地実習委員 (学部)
3. 健康長寿センター運営委員
4. 学年副担当 (2020 年度入学生)

### Ⅳ. 社会的活動

#### 【社会貢献活動】

1. 公益社団法人日本栄養士会会員
2. 公益社団法人高知県栄養士会会員
3. 日本栄養食糧学会会員
4. 日本食品保蔵科学会会員
5. 日本栄養改善学会会員
6. 日本食育学会会員
7. 日本農芸化学会会員
8. 日本ポリフェノール学会会員

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・調理学実習 I
- ・調理学実習 II
- ・調理学実習 III
- ・調理科学実験
- ・生体科学実験・実習
- ・土佐の食と健康 (ゲストスピーカー)
- ・地域学実習 II

### 【非常勤】

- ・高知学園大学 調理学実習 I (基礎)
- ・高知学園大学 調理学実習 II (応用)

## II. 研究活動

### 【学会発表】

1. 廣内智子、隅田有公子、彼末富貴、森本絢音、小椋和佳奈、坂本一美、小谷小枝、十萬敬子、村上尚、澁谷祐一. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会健康栄養連携部会の取り組み (減塩生活のセルフケア支援), 第 69 回日本栄養改善学会学術総会, 岡山 (2022. 9. 18)
2. 森本絢音、坂本一美、小椋和佳奈、廣内智子、隅田有公子、彼末富貴、十萬敬子、小谷小枝、澁谷祐一、村上尚. 高知医療センター栄養局・高知県立大学健康栄養学部の包括的連携事業の取り組み, 第 42 回食事療法学会, オンライン (2023. 3. 13)

### 【その他】

1. とさぶし 土佐おたからレシピ「ナスのタタキ」. 高知県文化生活スポーツ部文化国際課 16-17, 2022. 9. 30 取材協力

## III. 委員会活動

1. 学部広報委員
2. 学部報編集委員
3. 学部就職支援委員

## IV. 社会的活動

### 【社会貢献活動】

1. 高知市春野郷土資料館運営審議会委員
2. 高知市観光振興計画推進委員会
3. 高知市文化振興審議会委員
4. 土佐伝統食研究会会員
5. よい食生活をすすめるネットワーク役員
6. 社団法人日本調理科学会会員
7. 日本栄養改善学会会員
8. 社団法人日本家政学会会員
9. 公益社団法人日本栄養士会会員
10. 公益社団法人高知県栄養士会会員

### 【講演・講習会等】

1. くらしの植物教室「トウモロコシを知る～「きび」と高知の食文化」講師 牧野植物園 2022 年 7 月 9 日
2. 調理師試験準備講習会「食文化概論」講師 高知所ホール 2022 年 9 月 22 日

3. 放課後デイサービス アビリティーキッズ 高知の魚についての話と調理実習 講師 高知県ふくし交流プラザ 2022年8月5日
4. 土佐の雑煮の学習 講師 潮江東小学校 2022年12月8日
5. 栄養ケア・ステーション事業 こうちの食材を使った料理、伝統の郷土料理などを普及するための料理教室 講師 とさのさとキッチンプラス 2022年11月21日, 2023年1月23日, 3月23日
6. ソーレまつり「親子でご飯づくり」 講師 こうち男女共同参画センター「ソーレ」2023年1月21日



高知県立大学健康栄養学部 学部報 第13号  
令和4(2022)年度版

発行日：令和5年9月1日

編集：高知県立大学健康栄養学部 学部報編集委員

発行：高知県立大学健康栄養学部

〒781-8515 高知市池 2751 番地 1

電話 (088) 847-8700(代)